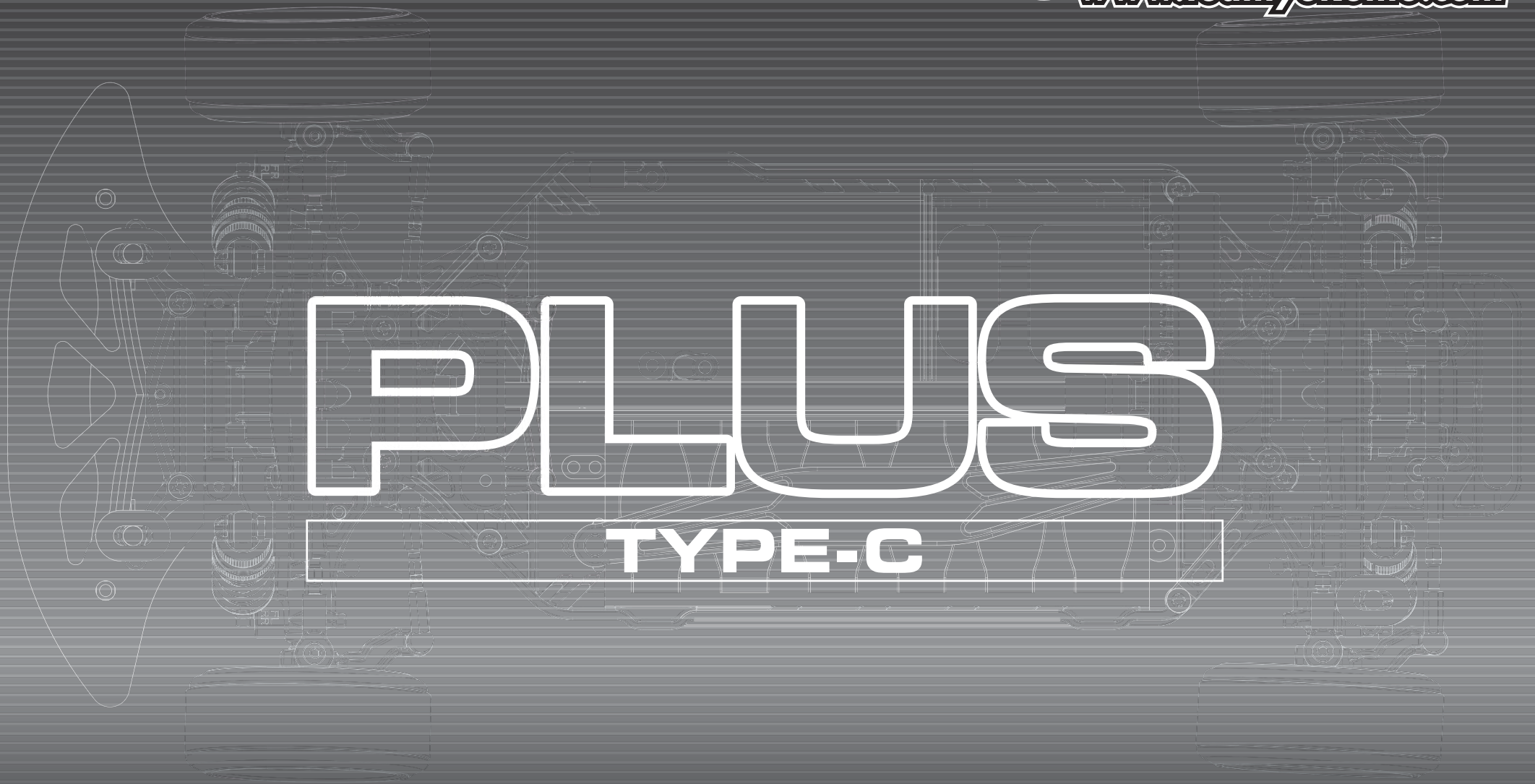
RC MODEL CARS
YOKOMO
www.teamyokomo.com



PLUS

TYPE-C

DRIFT PACKAGE PLUS CHASSIS KIT

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。
本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer.
Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

組立の注意

- ●幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- ●組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサビス部までお問い合わせ下さい。
- ●組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- ●組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- ●部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- ●プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛ぶ危険があるので注意して下さい。
- ●回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- ●配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- ●必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- ●塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

走行の注意

- ●ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- ●公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- ●R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- ●周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- ●R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- ●R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- ●走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

走らせる手順

①タイヤが空転するように、台の上にR/Cカーを置きます。
②スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
③送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。（送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。）
④受信機のスイッチをONにします。

走行終了手順

①スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
②バッテリーの接続を外します。
③送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

バッテリーの取り扱い

（バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- ●バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
- ●バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
- ●走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
- ●不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

モーターの取り扱い

（モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。）

- ●7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレークインをする時は、モーターをしっかり固定し3～5V程度でから回しして下さい。
- ●モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
- ●モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因にもなります。
- ●走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

ASSEMBLY PRECAUTIONS

- ●Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- ●Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- ●You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- ●Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- ●Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- ●When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- ●Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- ●Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- ●Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- ●Always paint in a well ventilated area away from flames.

PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- ●Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- ●Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- ●R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario. radio interferences may cause loss of control.
- ●If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- ●R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- ●The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- ●Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

BEGINNING A RUN

①Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
②Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
③Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running)
④Turn the speed controller switch ON.

FINISHING A RUN

①Turn the speed controller switch OFF.
②Disconnect the battery.
③Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

BATTERY USAGE

(Carefully read the instruction included with the batteries.)

- ●When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
- ●When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
- ●Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
- ●Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

MOTOR USAGE

(Carefully read the instruction included with the motor.)

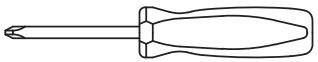
- ●Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
- ●Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreasend run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
- ●Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
- ●Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

【組み立てに必要な物 】
ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [DRIFT PACKAGE Type-B] ASSEMBLY

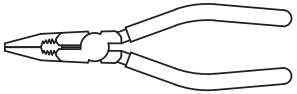
■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■
ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- ２チャンネルプロポ（１サーボ　１アンプ仕様 ）
  TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用７．２Ｖバッテリーパック
  7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
  BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
  MOTOR
- タイヤ（タイヤ付キットは不要）
  TIRES
- 走行用ボディー（ボディー付キットは不要）
  BODY
- ボディー塗装用カラー
  BODY SPRAY PAINT

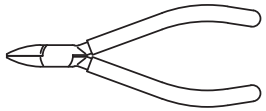
■ 別途用意する工具 ■
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



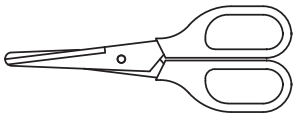
ドライバー（大,小）
SCREW DRIVER(SMALL & LARGE)



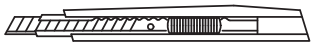
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS

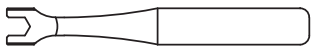


カッター
HOBBY KNIFE

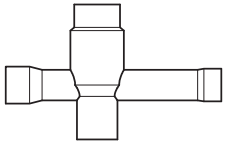
■ キットに入っている工具 ■
TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
（１．5mm& ２．0mm）



ターンバックルレンチ
TURNBUCLE WRENCH



十字レンチ
NUT WRENCH

[DRIFT PACKAGE PLUS Type-C]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参照し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [DRIFT PACKAGE PLUS Type-C] will perform at its best!!

【 袋ー① の内容 】

—×8　Ｍ３×１２皿タッピングビス

—×2　フロントサスマウント

—×2　リアサスマウント

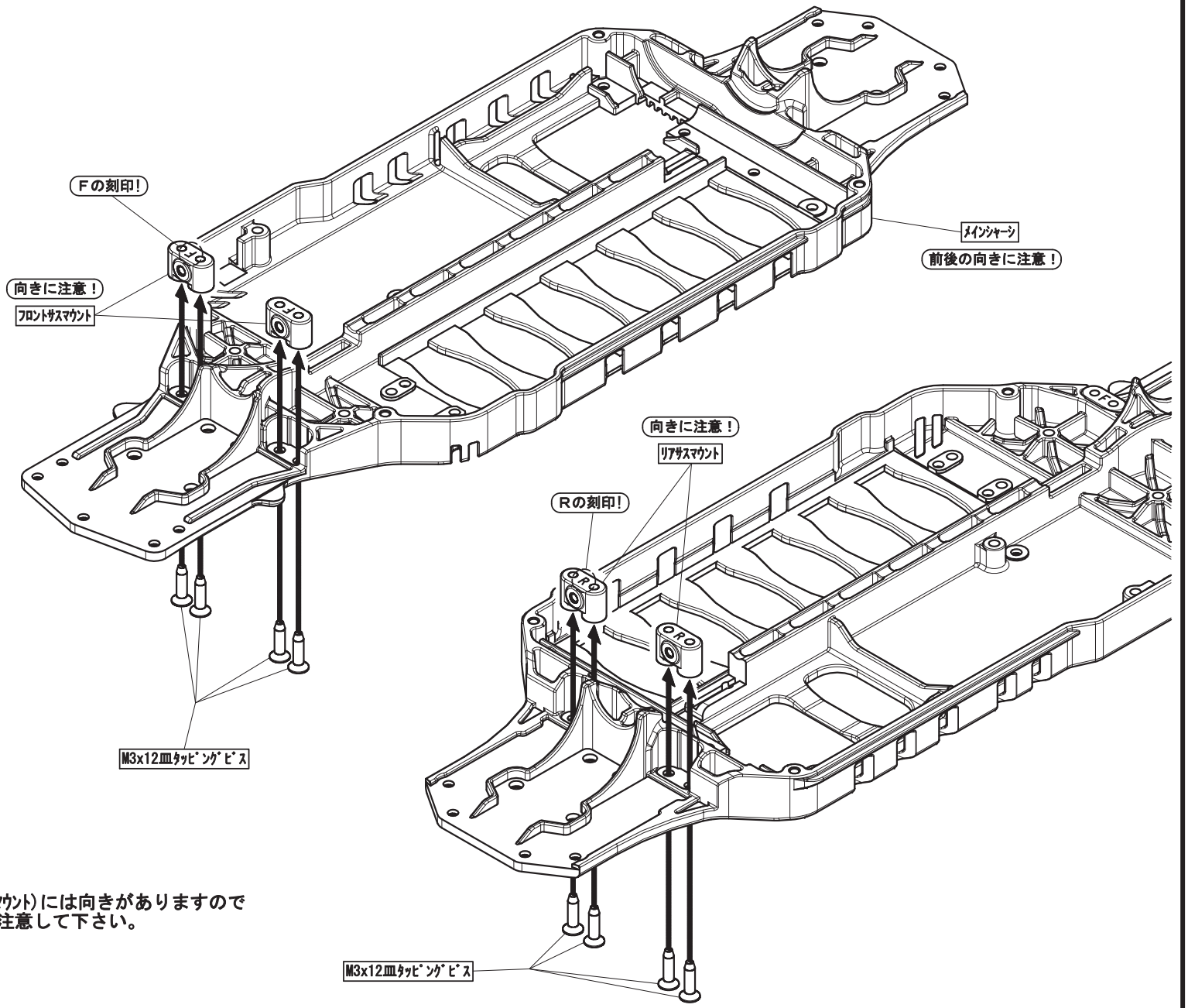
【取付け前にちょっと注目！】

キットにはネジ部分が違う２種類のビスが入っています。
使用個所を間違わないように十分注意して下さい。
※金属パーツにタッピングビスは使用できません。

タッピングビス
（ネジがひろい）

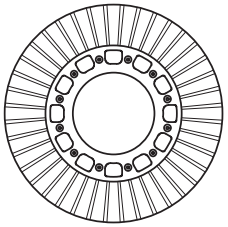
ビス
（ネジがせまい）

1 前後サスマウントの取付

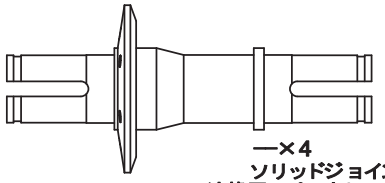


注意！ー（フロント＆リアサスマウント）には向きがありますので
取付時には注意して下さい。

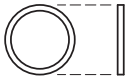
【 袋ー② の内容 】



—×2　リングギヤ

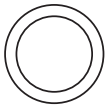


—×4
ソリッドジョイント
（交換用スペアとして 2個付属）



—×4　ジョイントリング

—×6　M2× 5 タッピングビス



—×4　10× 13シム



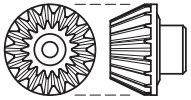
—×4　10× 15ベアリング



—×1
フロントインプットシャフト



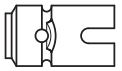
—×1　リアインプットシャフト



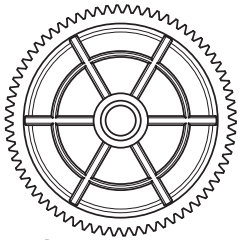
—×2
ドライブギヤ



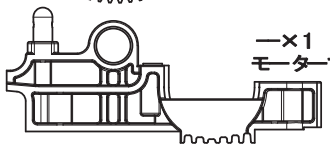
—×2　ドライブカップクリップ



—×2　センタードライブカップ



—×1
スパーギヤ



—×1
モーターマウント

その他、ミッションケース類、シャーシブレース類

【 袋ー③ の内容 】



—×2　M2.6× 6 皿ビス（ロック剤付）



—×2　M3× 8 皿ビス



—×1　M3× 12 皿ビス



—×4　M3× 10 皿タッピングビス



—×8　M3× 12 タッピングビス

—×1　ハブピン



—×1　Oリング



—×1　5× 8シム



—×2　8× 11シム

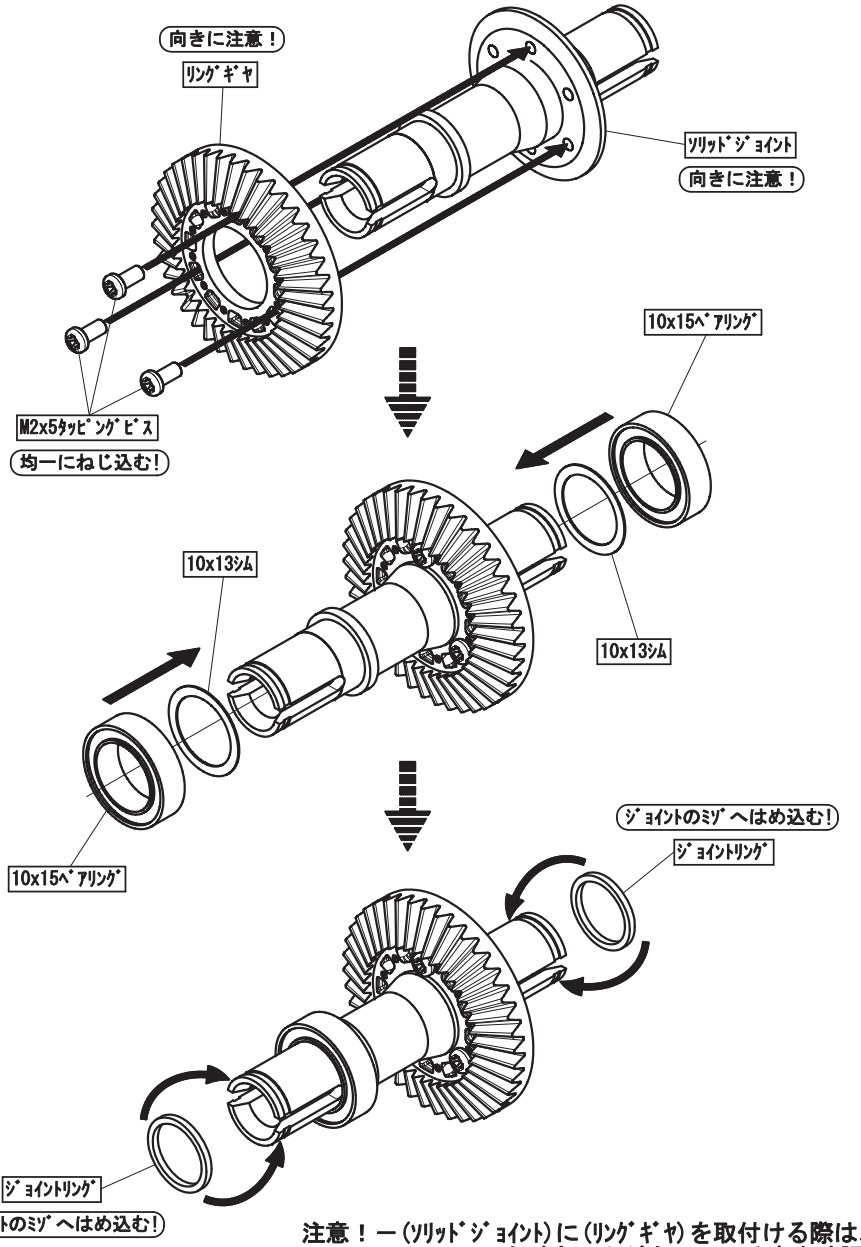


—×3　5× 10ベアリング



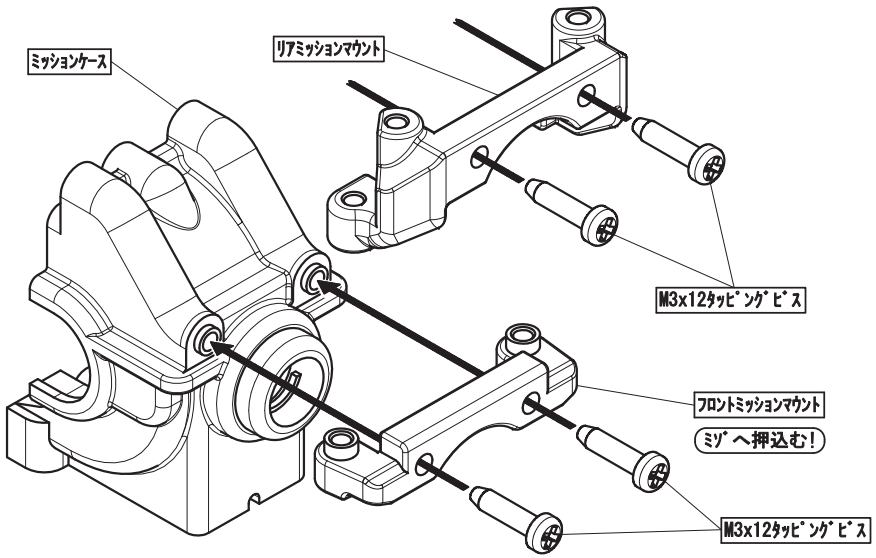
—×2　8× 14ベアリング

2 ソリッドジョイントの組立て（2セット作ります）



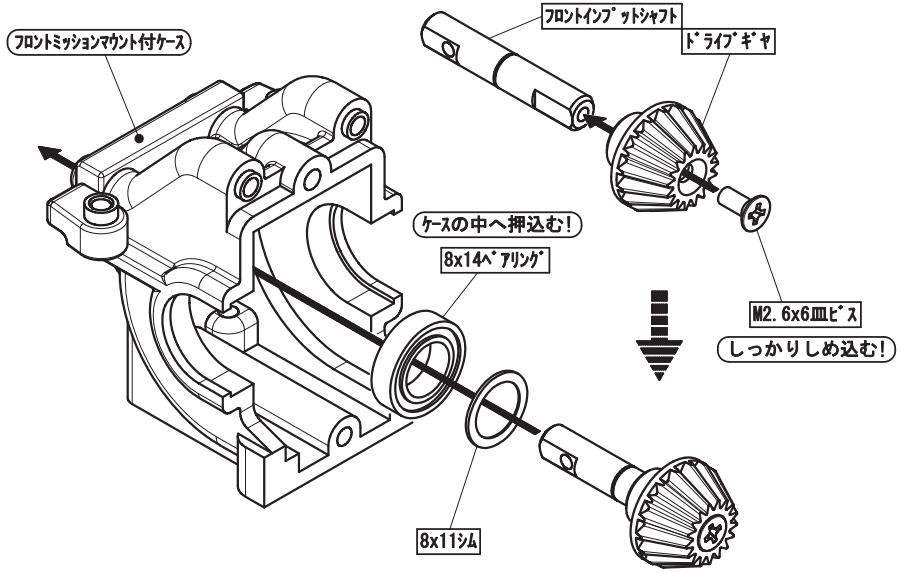
注意！ー（ｿﾘｯﾄﾞｼﾞｮｲﾝﾄ）に（ﾘﾝｸﾞｷﾞﾔ）を取付ける際は、互いのネジ穴同士が合っている事を確認し、（M2x5ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ）３本を均等に少しづつ、まんべんなくしめ付けて下さい。

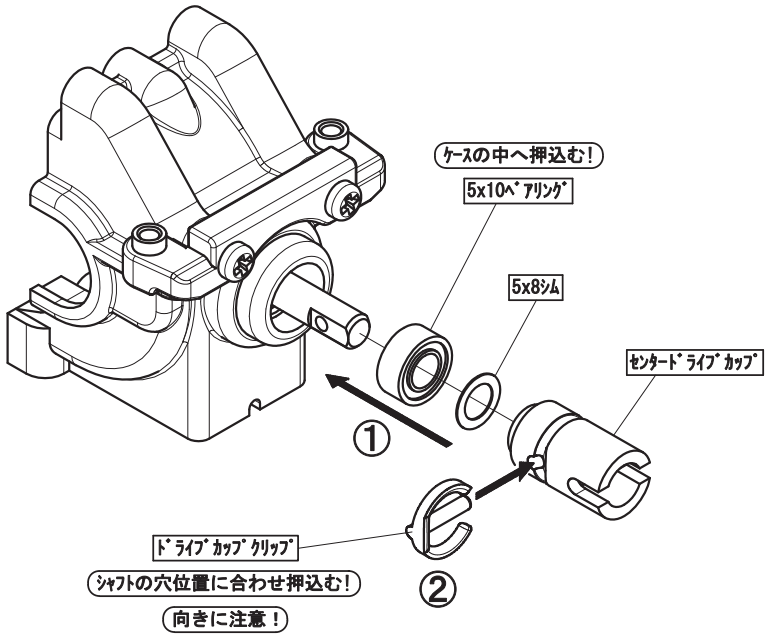
3 フロントミッションケースの組立て

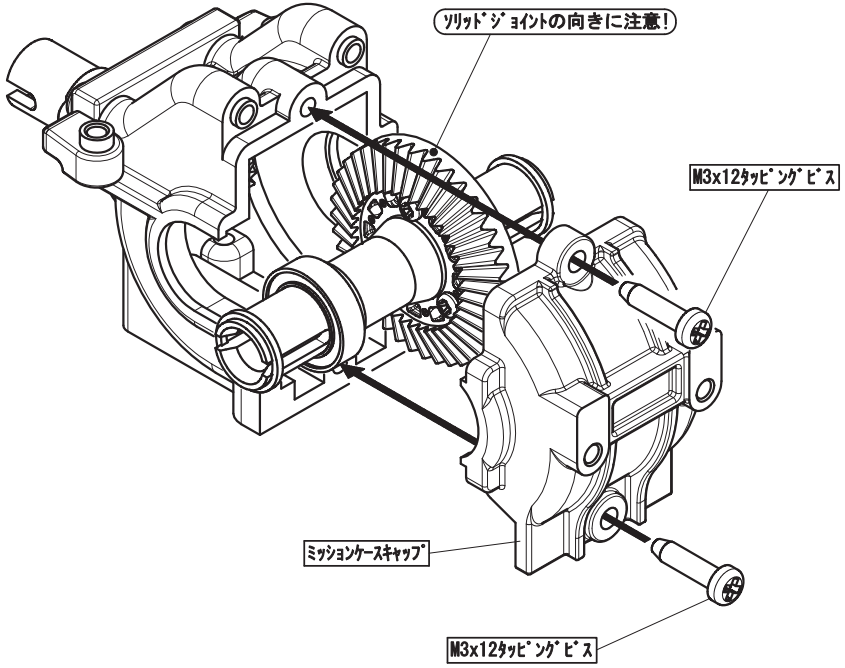


(ミッションケース)に(フロントミッションマウント)をはめ込み、(M3x12タッピングビス)で固定します。
同様に(リアミッションマウント)をはめ込んだ(ミッションケース)も作ります。(次ページで使用)

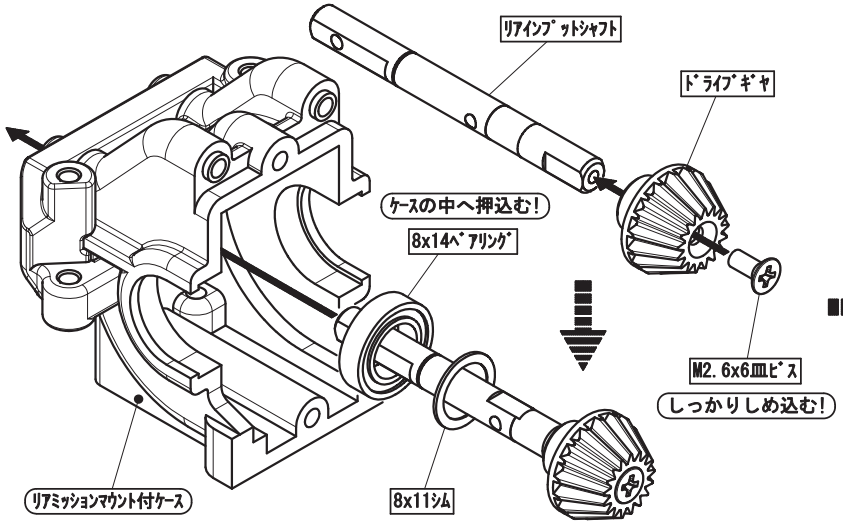
注意!ー(M2.6x6皿ビス)は、しっかりとしめ込んで下さい。



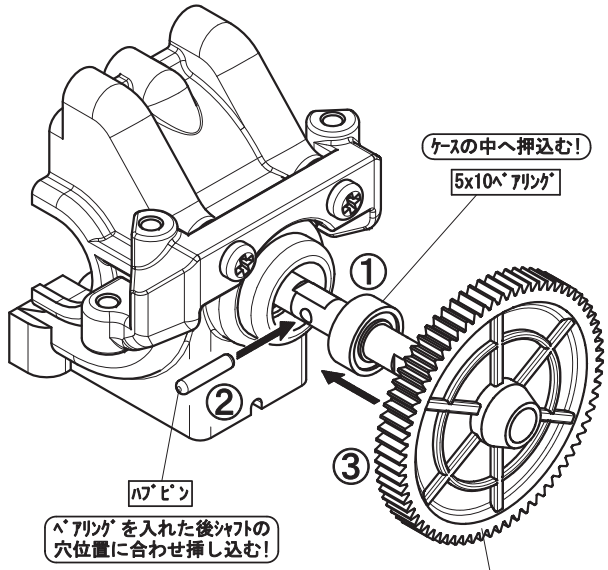


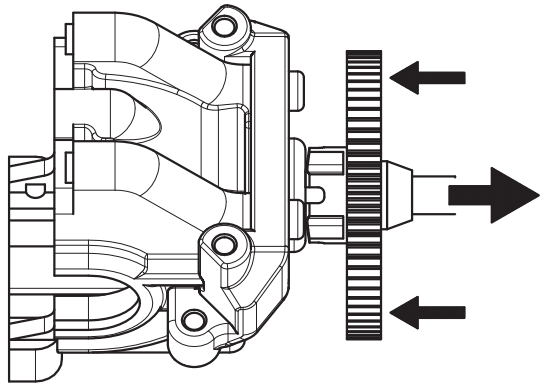


4 リアミッションケースの組立て

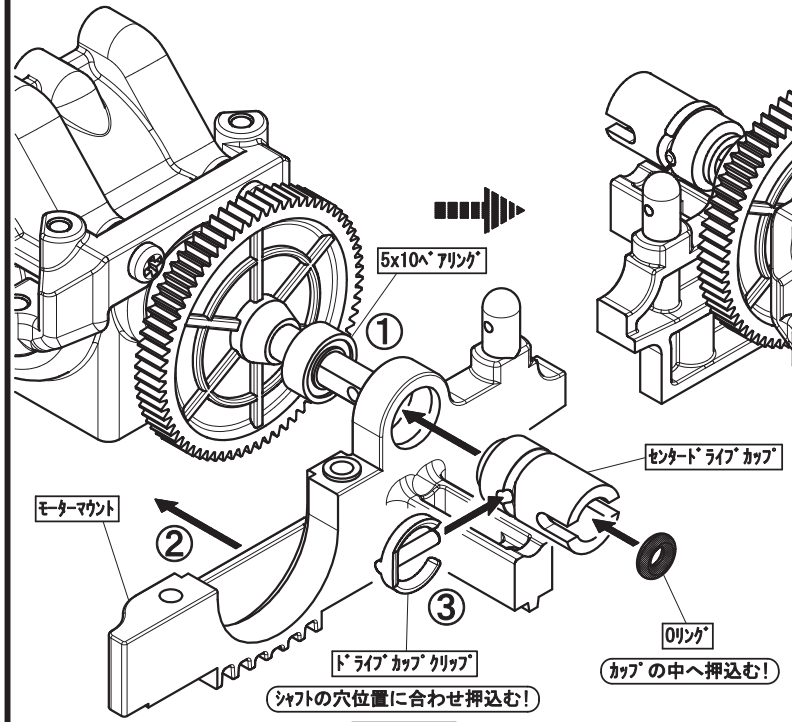


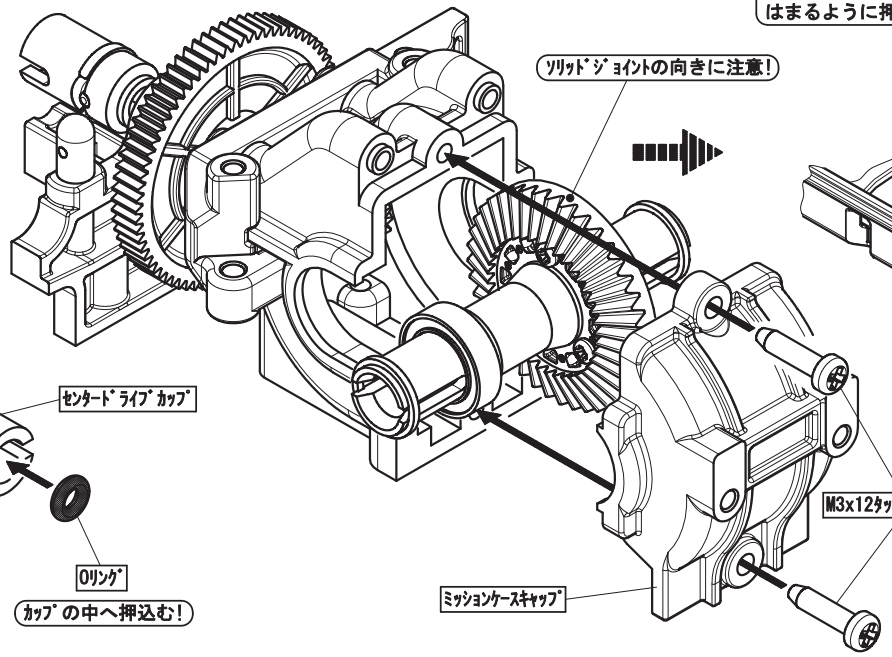
注意！①(M2.6x6皿ビス)は、しっかりとしめ込んで下さい。

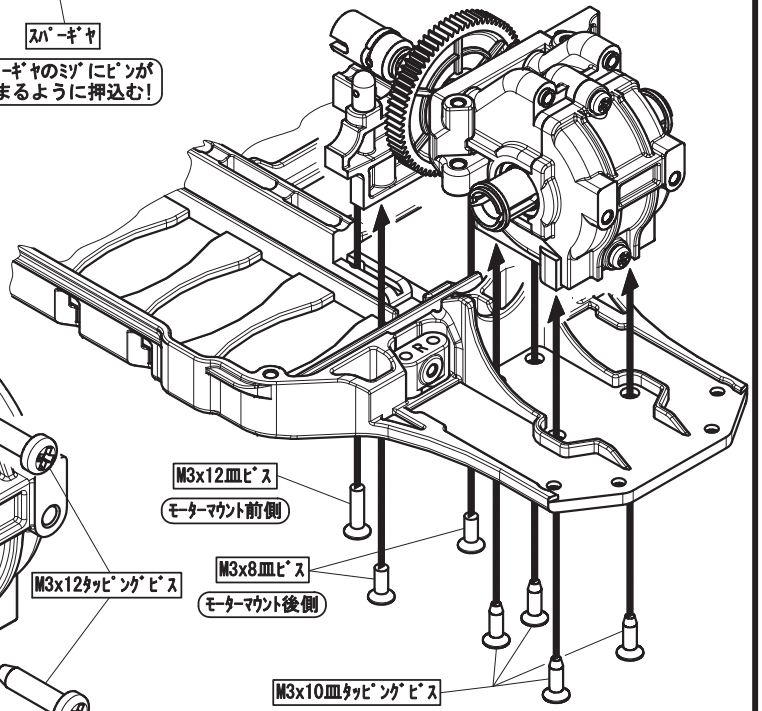




リヤインプットシャフトを引張った状態で
スパーギヤをケースに押し当てるように
しっかりと押し込んで下さい。

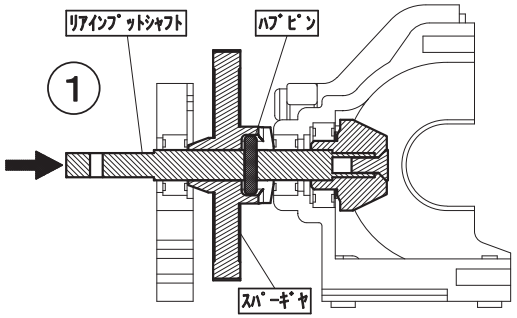




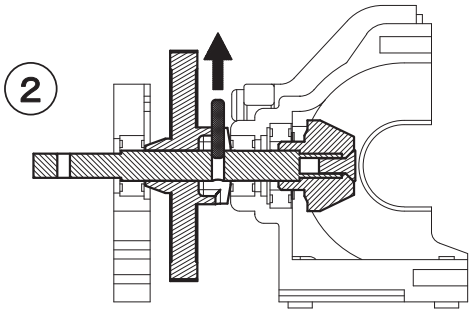


(モーターマウント)を固定する外側の穴は使用しませんので、
ビスで固定しないで下さい。（３点固定です。）

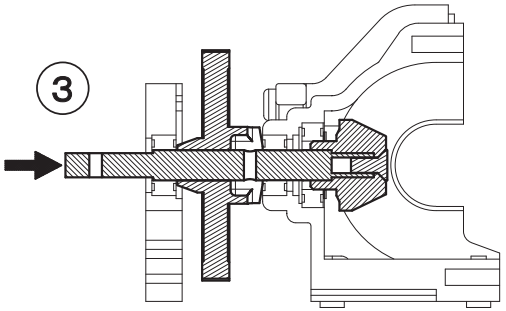
1ポイントアドバイス！
スパーギヤの取外し方



ミッションケースキャップ、リジットジョイント、センタードライブカップを外しリヤインプットシャフトを後方へづらす。

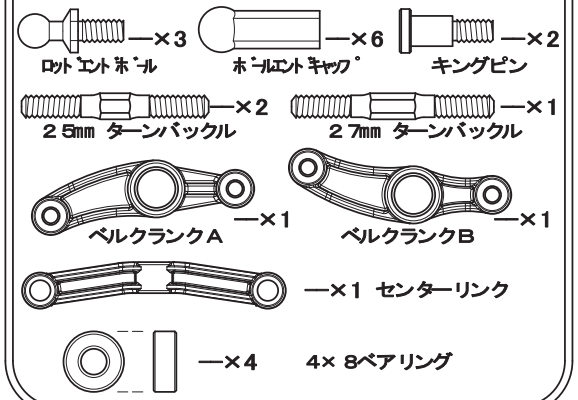


スパーギヤのミゾからハブピンが見える位置までリヤインプットシャフトをづらしハブピンを抜く。
（ハブピンが抜けやすい場合は、薄くゴム系接着剤などを塗って下さい。）



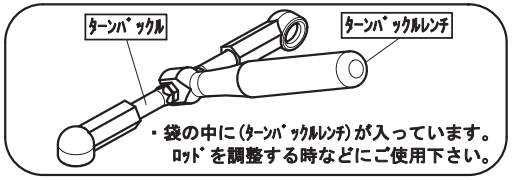
リヤインプットシャフトを完全に引き抜きスパーギヤを上から抜く。
（再組立時は逆の手順で行います。）

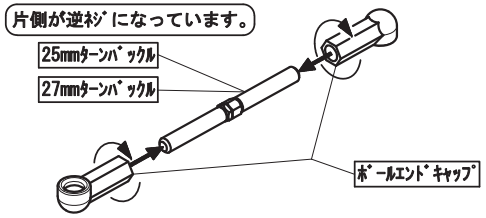
【 袋ー④ の内容 】



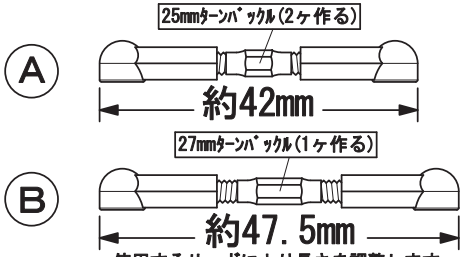
各タイロッドの組立て

タイロッドは一体式と調整が可能なターンバックル式が入っています。お好みによりどちらかをご使用下さい。
（ターンバックル式は下図に示す組立が必要になります。）



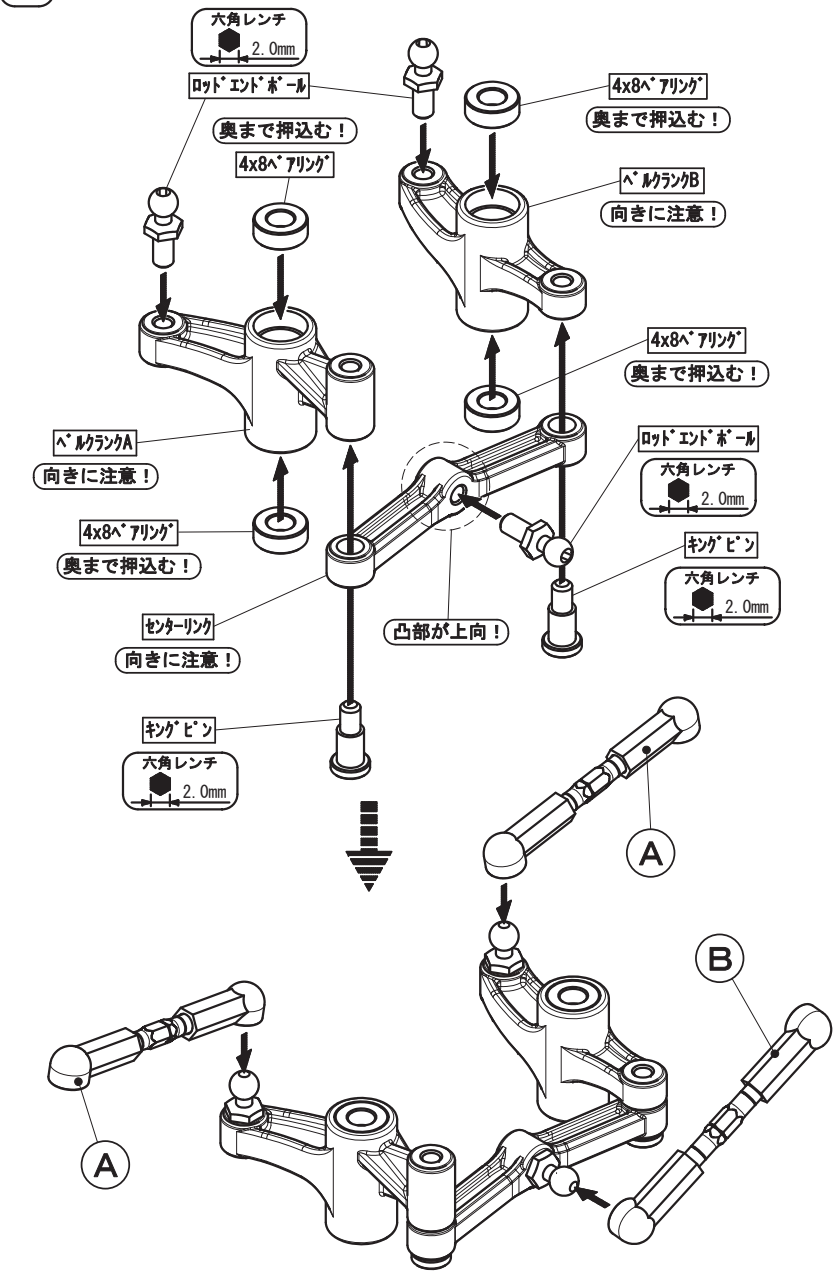


・各ロッド共、下記寸法で作成して下さい。



使用するサーボにより長さを調整します。

5 ベルクランクの組立て

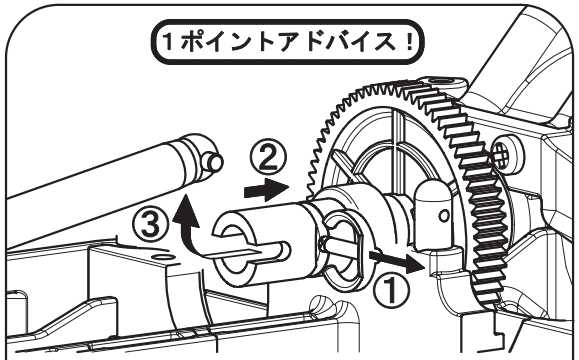


一体式ロッド、又はターンバックル式ロッドをイラストのように取付けます。 ターンバックル式を取付ける場合は、ネジ方向をそろえて取付けておくと長さ調整が簡単に行えます。

【 袋ー⑤ の内容 】

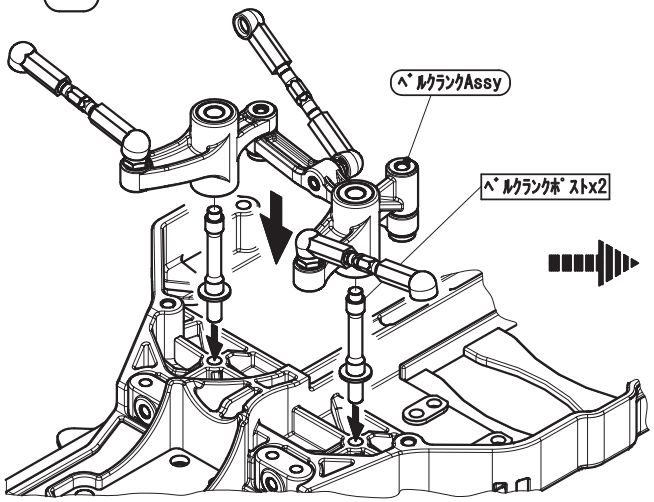
—×4	M3×１０皿タッピングビス
—×4	M3×１２ タッピングビス
—×2	M3×２０ タッピングビス
—×2	ベルクランクポスト
—×1	メインドライブシャフト

1ポイントアドバイス！

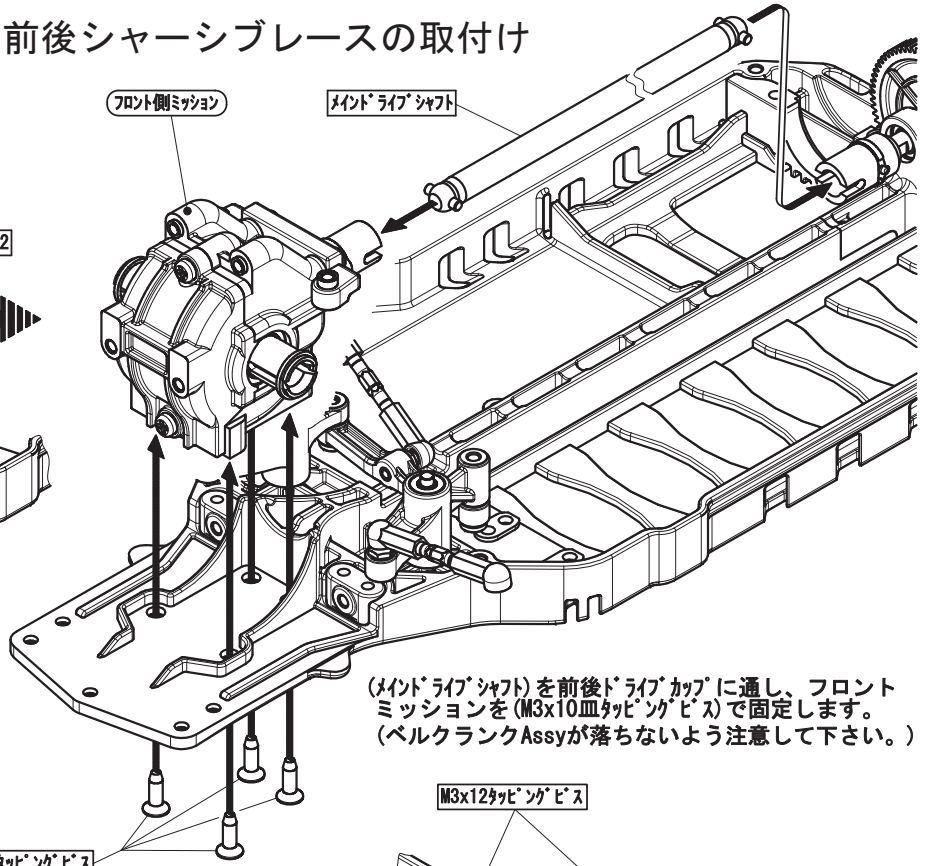


組立後、メインドライブシャフトを抜取る場合は,インプットシャフトからドライブカップクリップを引き抜き、センタードライブカップをズラスことで簡単に取る事ができます。

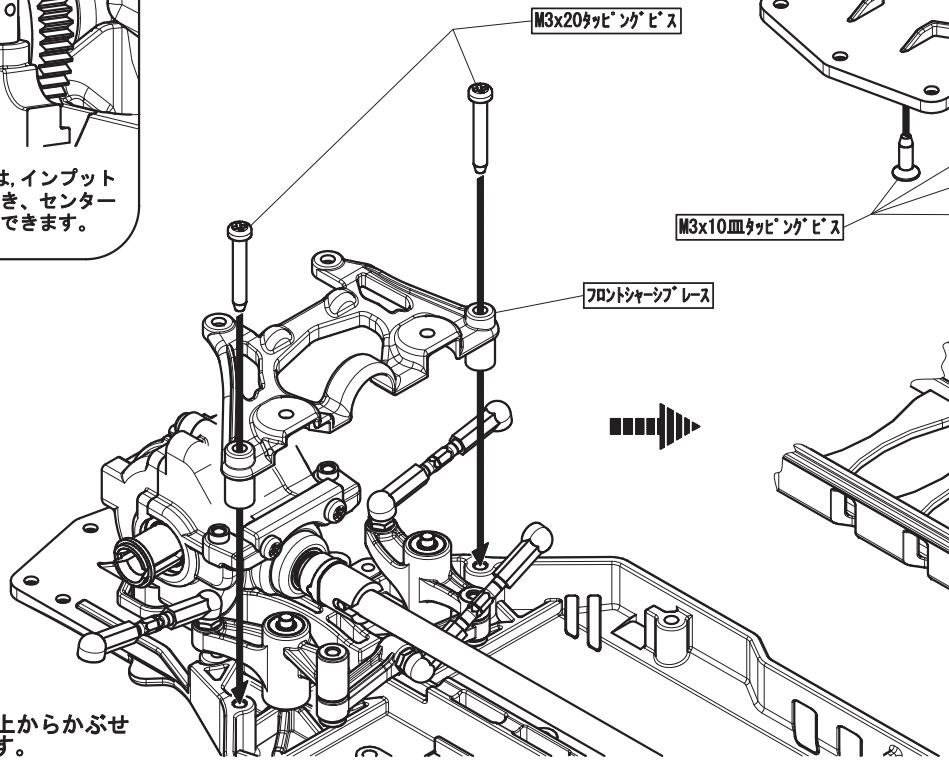
⑥ フロントミッションケース、前後シャーシブレースの取付け



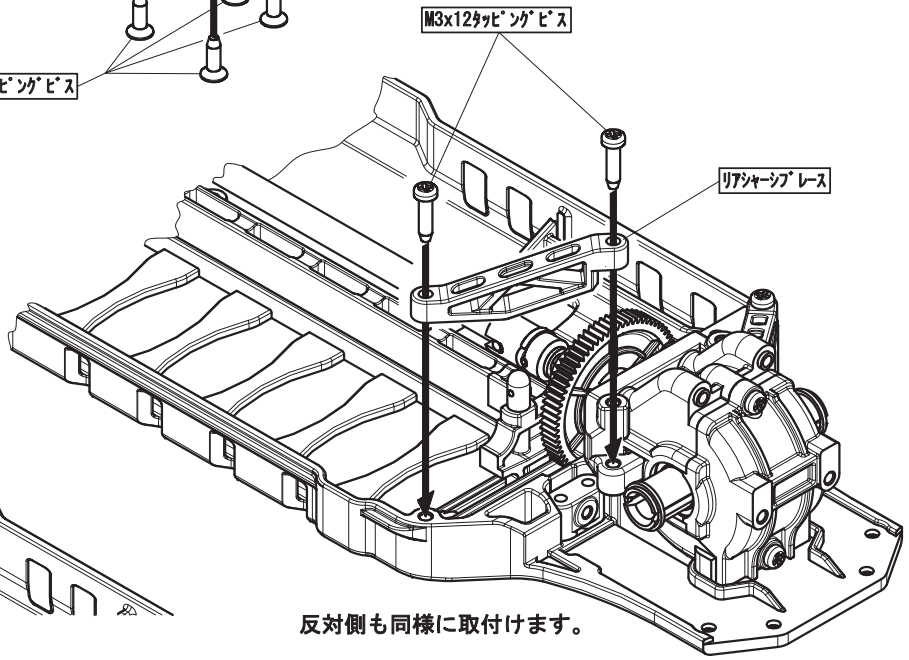
(ﾍﾞﾙｸﾗﾝｸﾎﾟｽﾄ) ２本をシャーシに挿し込み、前工程で組み立てたベルクランクＡｓｓｙをポストに挿し込みます。



(ﾒｲﾝﾄﾞﾗｲﾌﾞｼｬﾌﾄ) を前後ﾄﾞﾗｲﾌﾞｶｯﾌﾟに通し、フロントミッションを(M3x10皿ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ)で固定します。
(ベルクランクAssyが落ちないよう注意して下さい。)

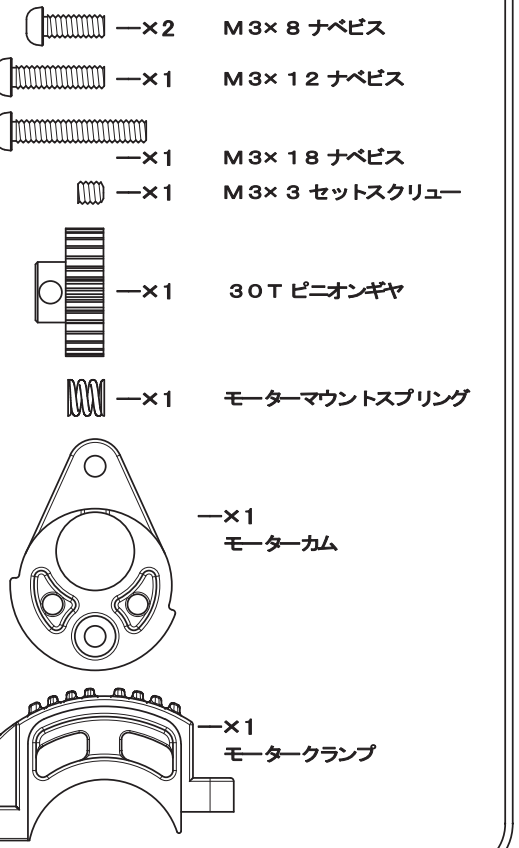


(ﾌﾛﾝﾄｼｬｰｼﾌﾞﾚｰｽ) を上からかぶせ各ビスで固定します。



反対側も同様に取付けます。

【 袋ー⑥ の内容 】



—×2　Ｍ３×８ナベビス

—×1　Ｍ３×１２ナベビス

—×1　Ｍ３×１８ナベビス

—×1　Ｍ３×３セットスクリュー

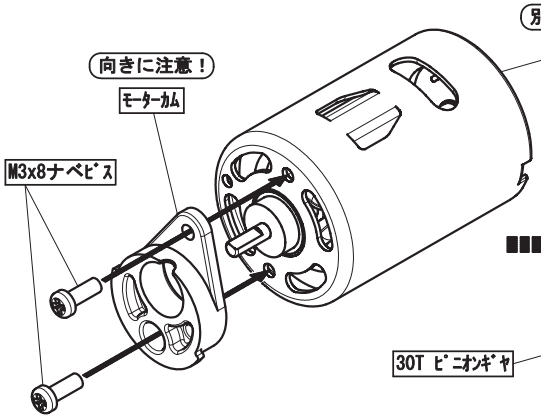
—×1　３０Ｔピニオンギヤ

—×1　モーターマウントスプリング

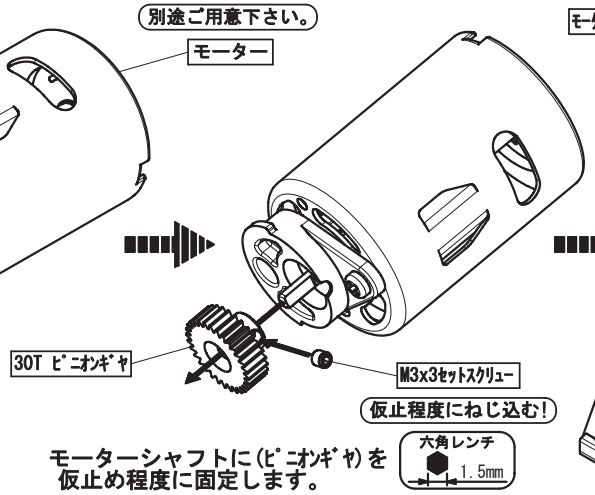
—×1
モーターカム

—×1
モータークランプ

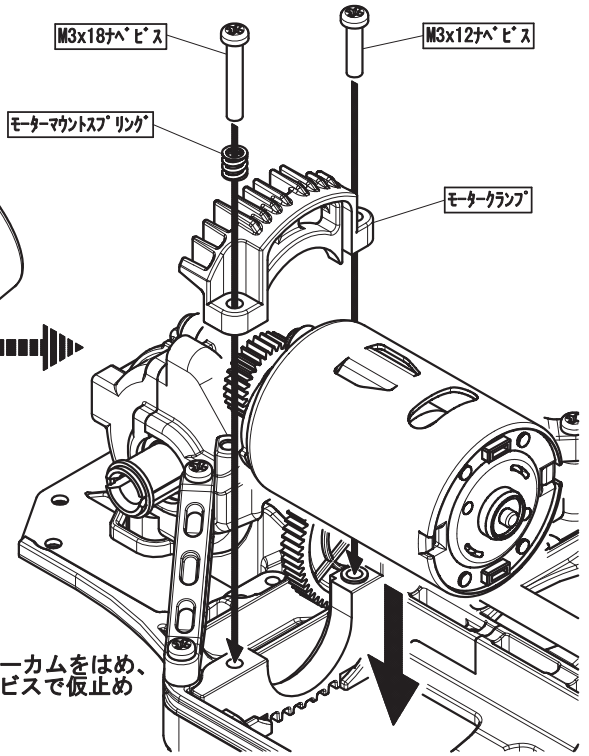
7 モーター、ピニオンギヤの取付け



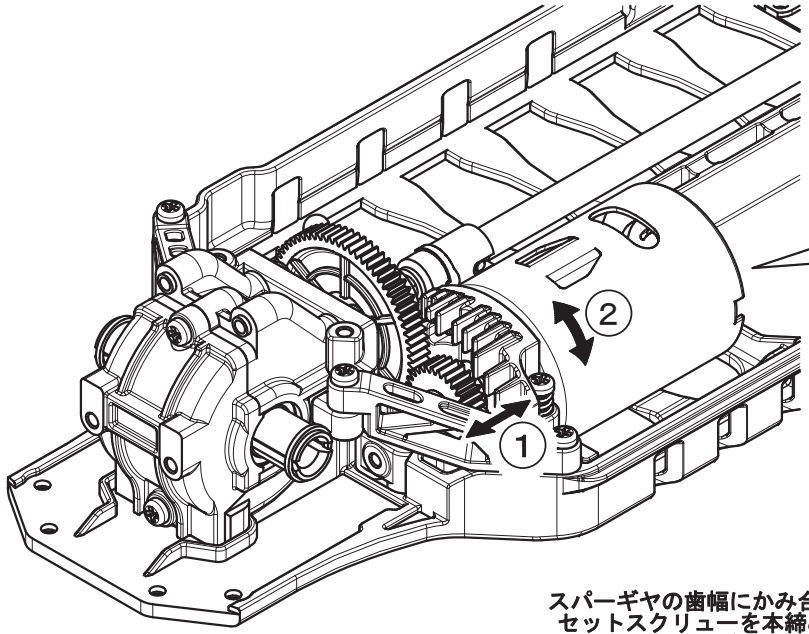
モーターに(モータカム)を(M3x8ナベビス)で固定します。

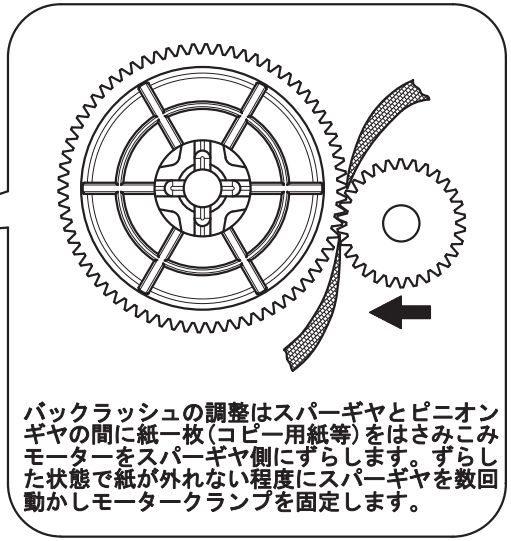


モーターシャフトに(ピニオンギヤ)を仮止め程度に固定します。



モーターマウント溝にモーターカムをはめ、上から(モータークランプ)を被せ、ビスで仮止め程度に固定します。





バックラッシュの調整はスパーギヤとピニオンギヤの間に紙一枚(コピー用紙等)をはさみこみモーターをスパーギヤ側にずらします。ずらした状態で紙が外れない程度にスパーギヤを数回動かしモータークランプを固定します。

スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの位置を調整し、セットスクリューを本締めします。最後にバックラッシュを合わせＭ３×１２ナベビスを先にしめ込んだ後、Ｍ３×１８ナベビスをスプリングが密着する位までしめ込み、そこから１回転戻します。

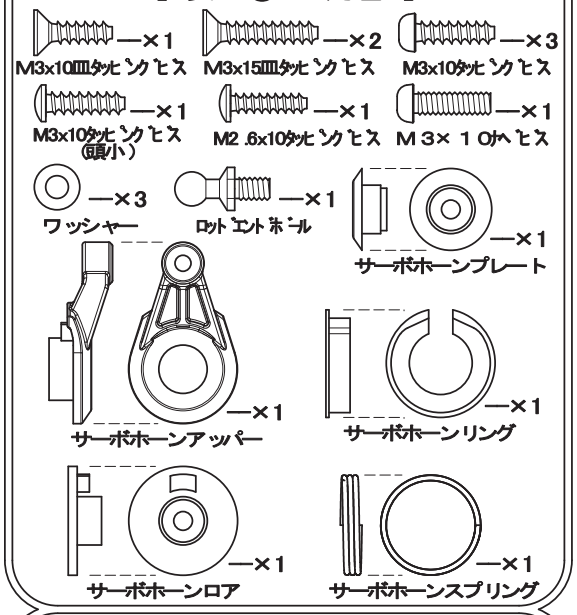
注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途ご用意下さい。

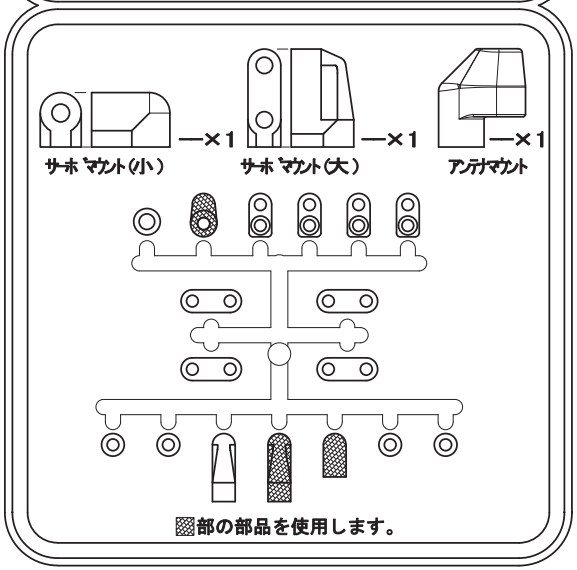
②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの(Dカット)されている部分に、セットスクリューが当たる様にしっかりと締め込んで下さい。

③バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)

④連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから走行をさせて下さい。

【 袋ー⑦ の内容 】

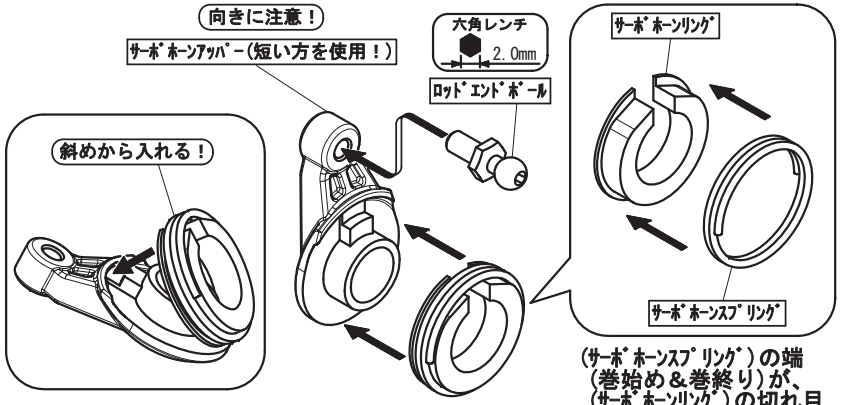




注意！②(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝﾛｱ)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくはプロポセットの説明書をご覧下さい。)

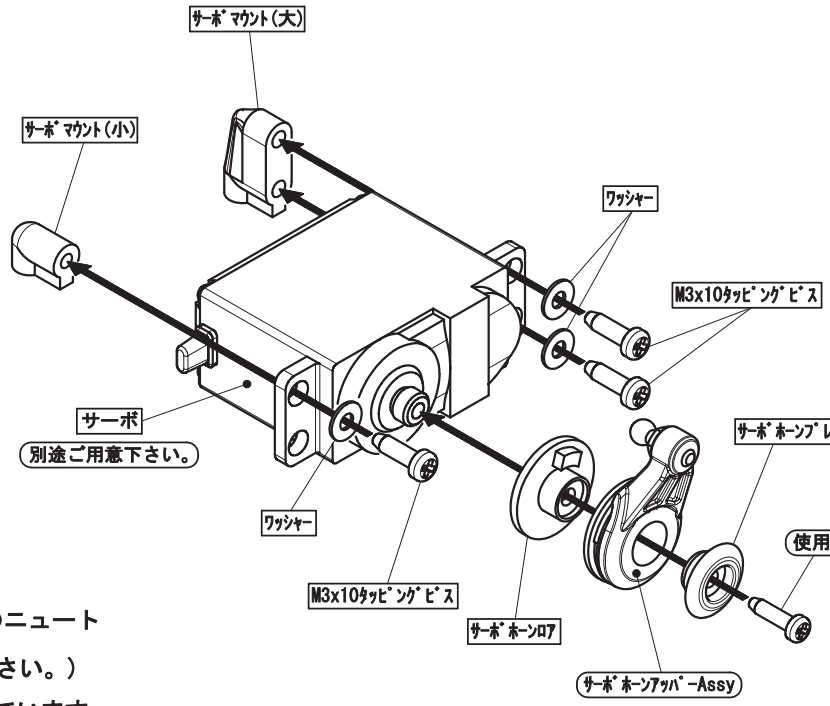
③キット付属の(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝﾛｱ)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

8 サーボセーバー、サーボの取付け



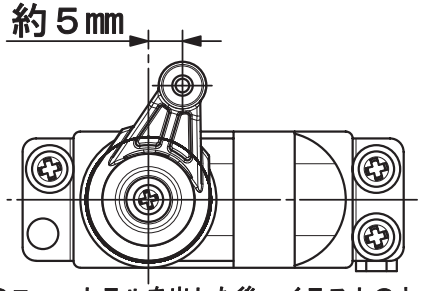
(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝｱｯﾊﾟｰ)は２種類付属されていますが、全長の短い方を使用します。
(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝﾘﾝｸﾞ)のはめ込みが固い場合は、イラストの様に斜めから入れて下さい

(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ)の端(巻始め＆巻終り)が、(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝﾘﾝｸﾞ)の切れ目にかからないよう取付けて下さい。



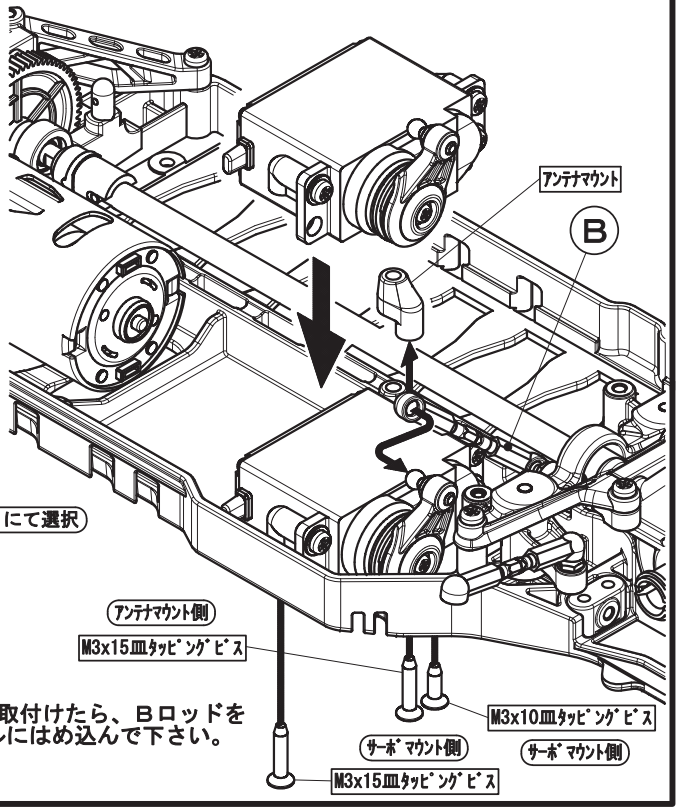
刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
JKS	JR,KO,サンワ

付属の(ｻｰﾎﾞﾎｰﾝﾛｱ)には刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。



サーボのニュートラルを出した後、イラストのようにサーボホーンを約５mm(１山分)ずらして取付けて下さい。

注意！①サーボホーンを固定するビスは、使用するサーボに付属されているネジ部と同タイプのビスを使用して下さい。
(本キット付属のビスは、ﾄﾗｽM2.6x10ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ、M3x10ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ(頭小)、M3x10ﾅﾍﾞﾋﾞｽの３種類です。)



シャーシにサーボを取付けたら、Ｂロッドをロッドエンドボールにはめ込んで下さい。

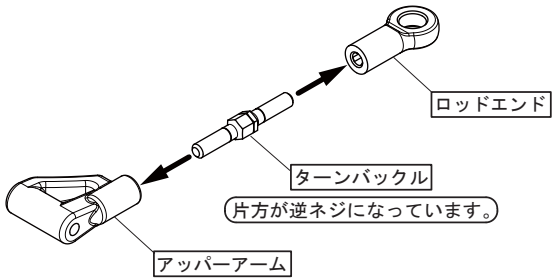
【袋 -⑧の内容】

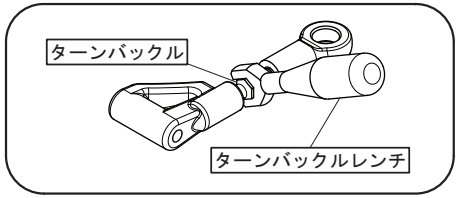
- −−×4 M2.6×5 タッピングビス
- −−×8 M3×12 タッピングビス
- −−×4 M3×12 ナベビス
- −−×2 ターンバックル 20mm
- −−×2 ターンバックル 25mm
- −−×4 ショックキャップボール
- −−×4 アッパーアームピン
- −−×2 スペーサー（グレー）
- −−×1 フロントショックタワー
- −−×1 リアショックタワー
- −−×1 フロントアッパーアームマウント
- −−×1 リアアッパーアームマウント
- −−×4 アッパーアーム
- −−×4 ロッドエンド

【P.14、15で使用します】

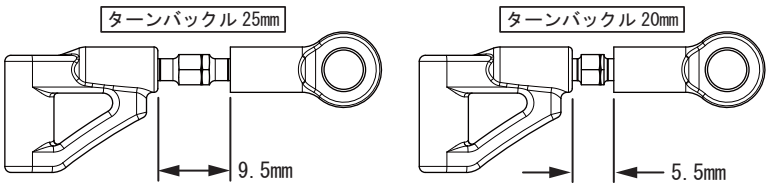
- −−×2 ロアロッドエンド（F）
- −−×2 ロアロッドエンド（R）

9 前後アッパーアームの組立て





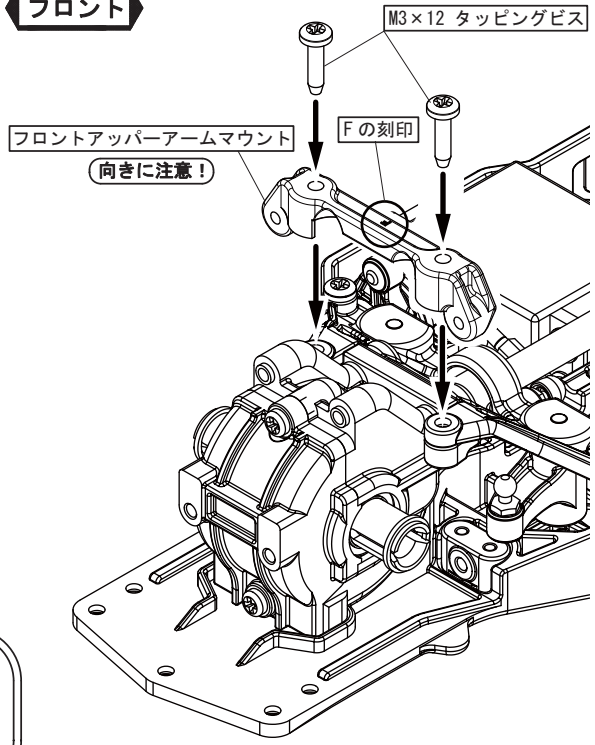
フロント 1:1 リア



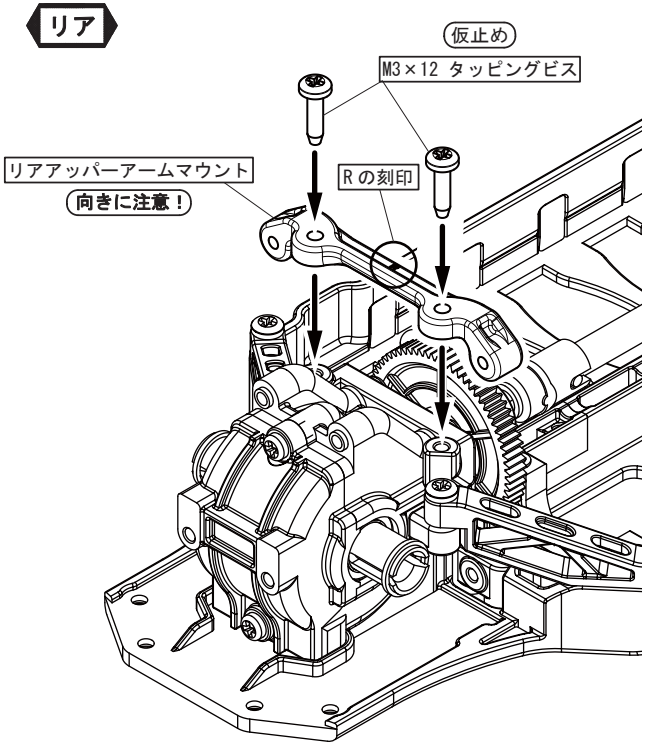
各 2 個作ります。

アッパーアームマウントの取付け

フロント

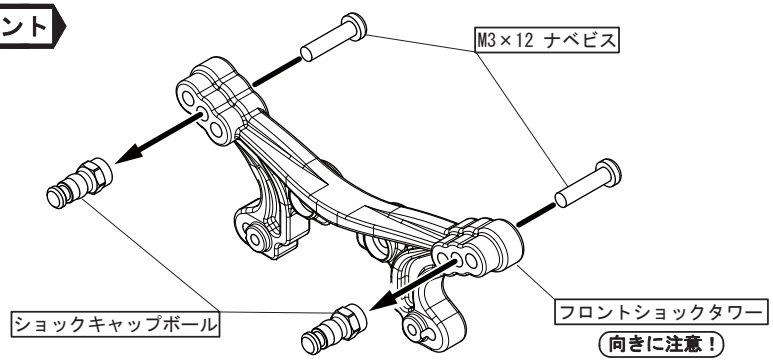


リア

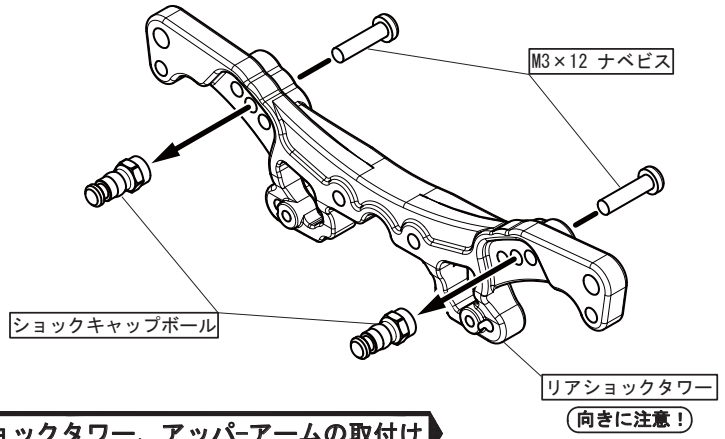


10 前後ショックタワーの組立て

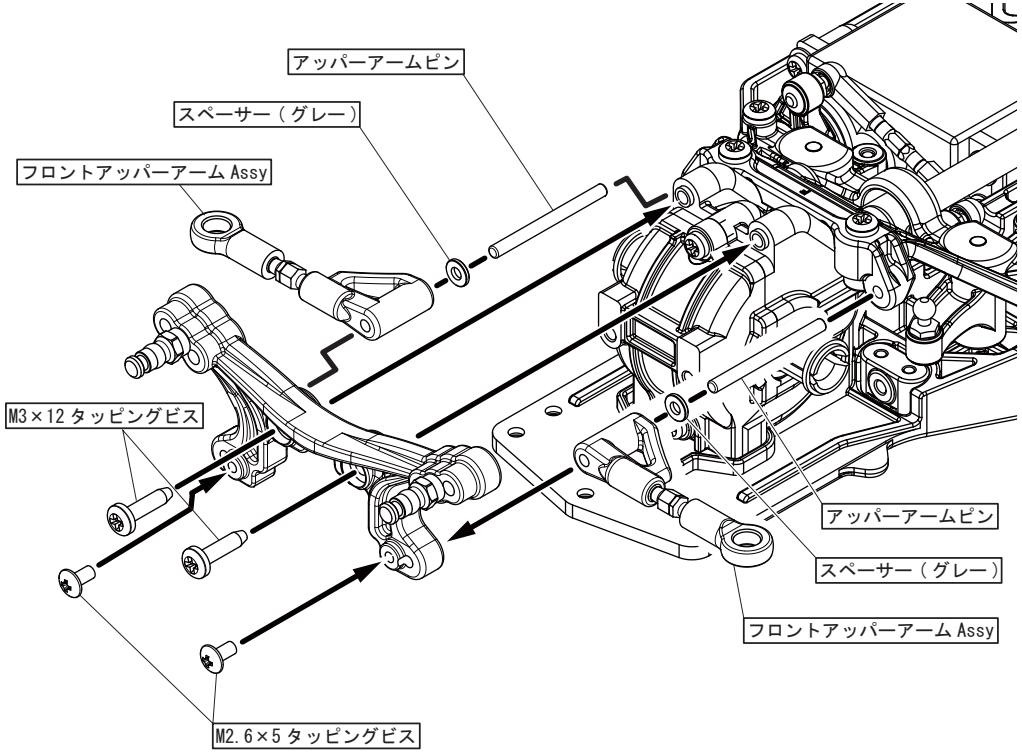
フロント



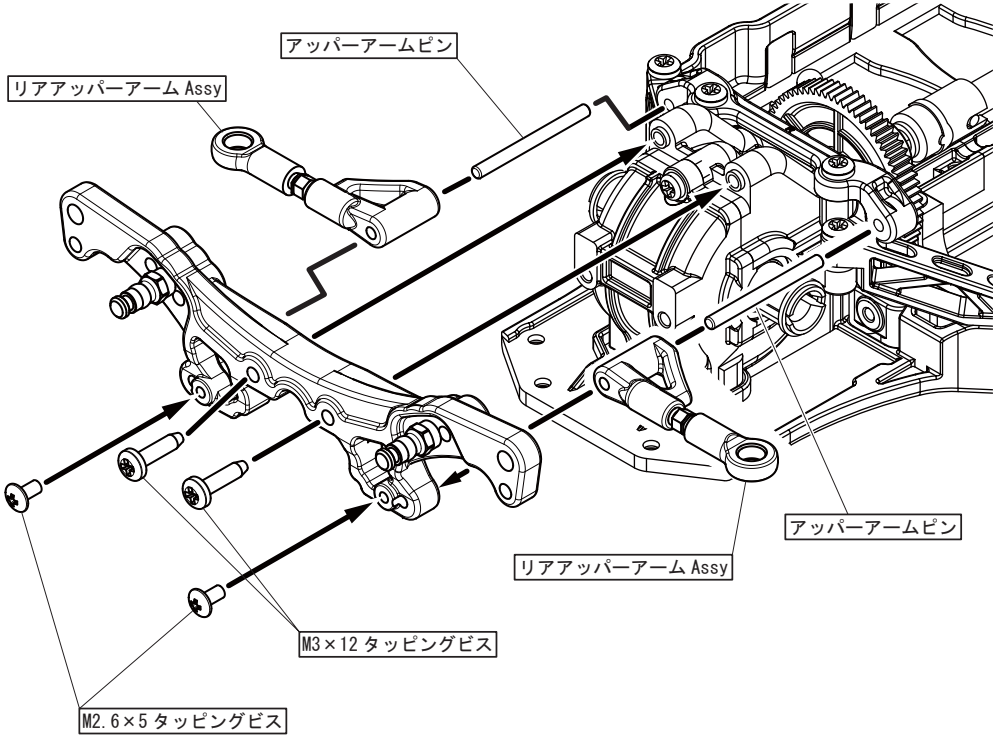
リア



フロントショックタワー、アッパーアームの取付け



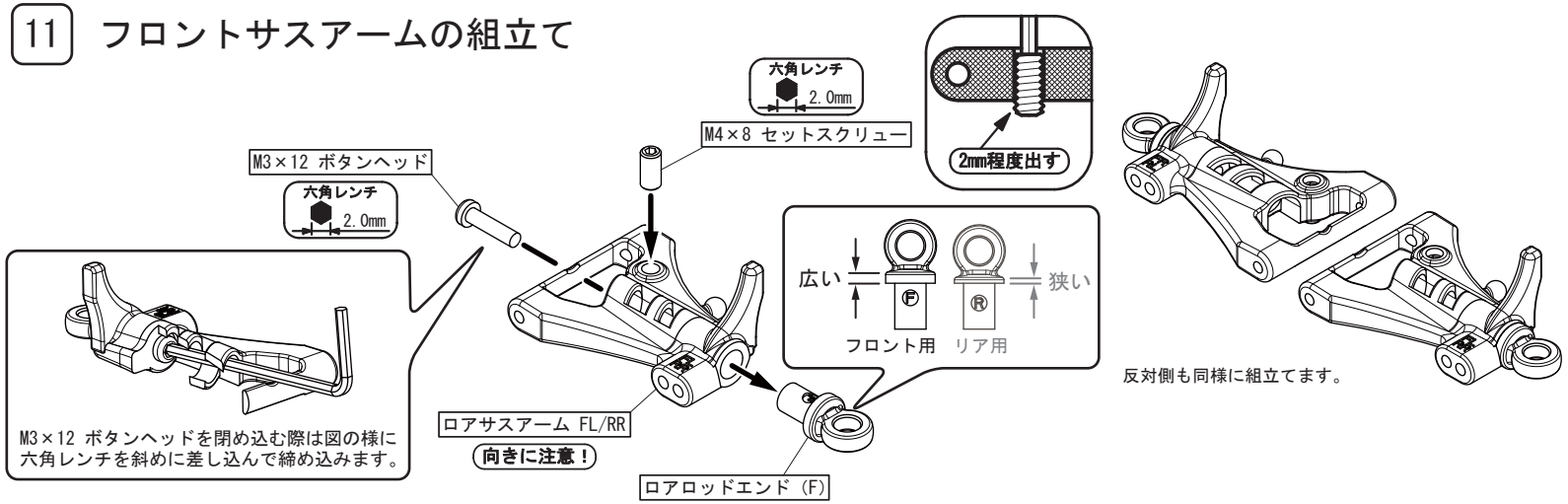
リアショックタワー、アッパーアームの取付け



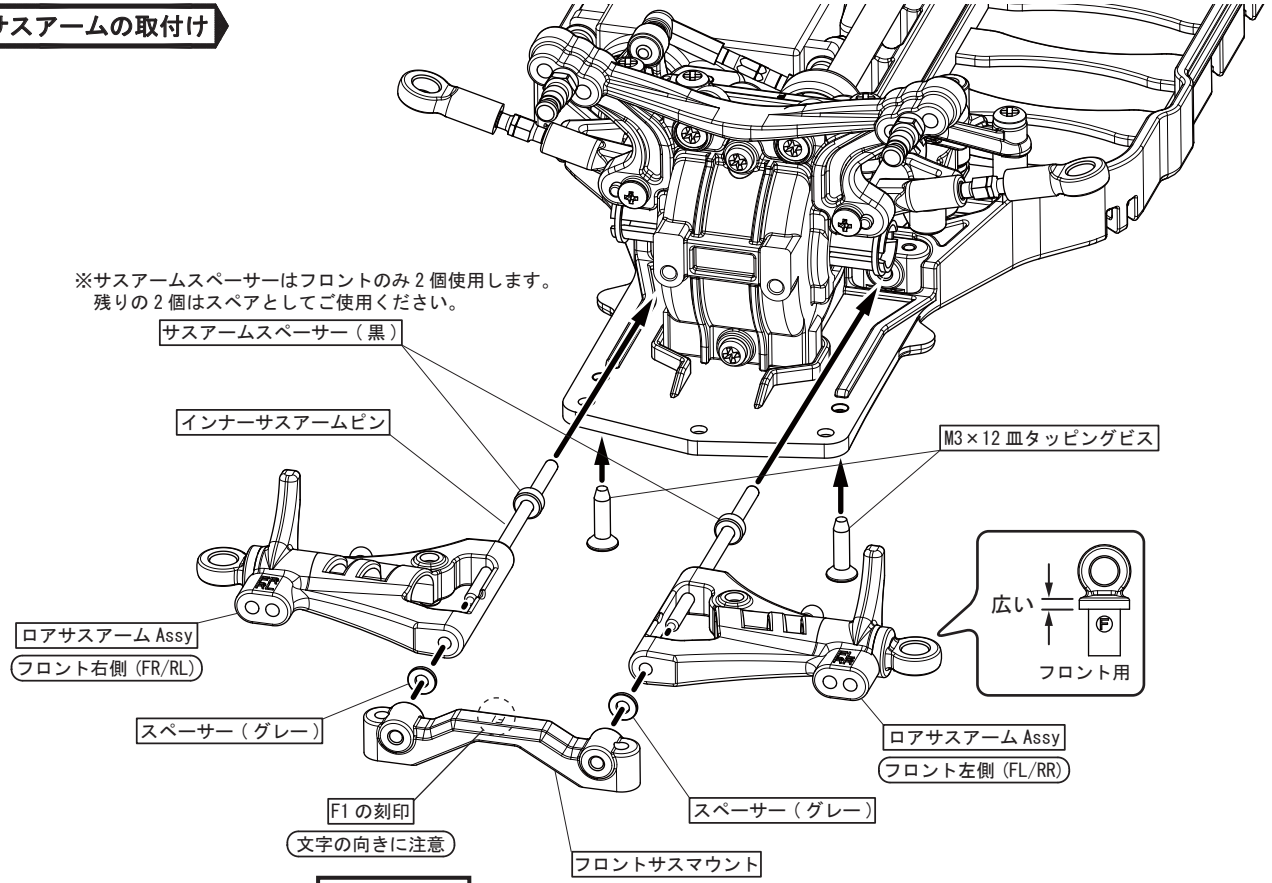
【袋 -⑨の内容】

- −−×4 M3×12 ボタンヘッド
- −−×4 M3×12 皿タッピングビス
- −−×4 M4×8 セットスクリュー
- −−×4 インナーサスアームピン
- −−×2 サスアームスペーサー
- −−×2 スペーサー（グレー）
- −−×2 ロッドエンドボールL
- −−×4 ボールエンドキャップ
- −−×4 ワッシャー（黒）
- −−×2 33mm ターンバックル
- −−×2 ロアサスアーム FL/RR
- −−×2 ロアサスアーム FR/RL
- −−×1 フロントサスマウント
- −−×1 リアサスマウント
- −−×1 リンクマウント

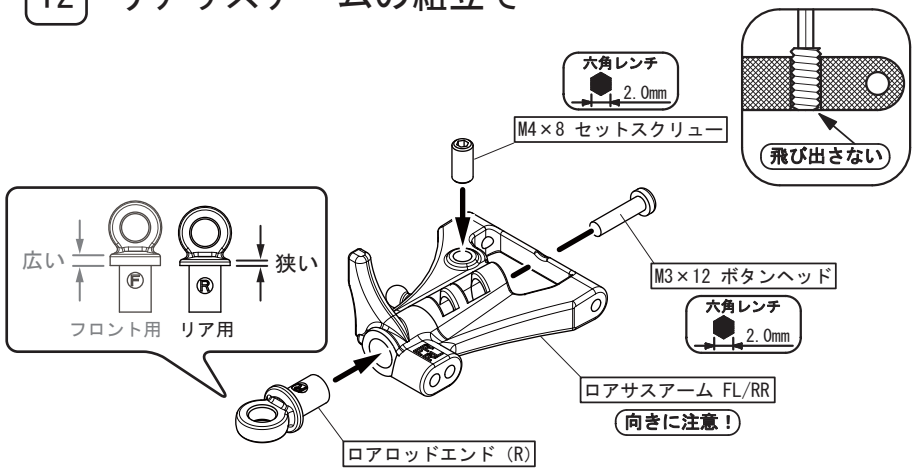
11 フロントサスアームの組立て

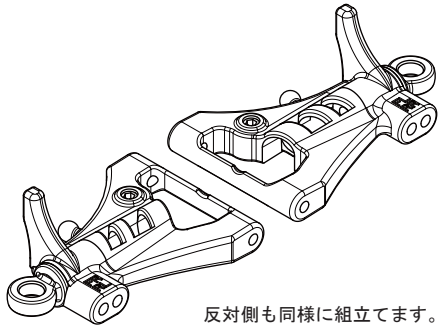


フロントサスアームの取付け



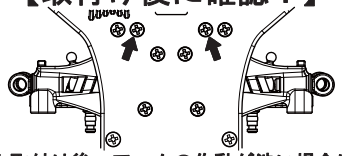
12 リアサスアームの組立て





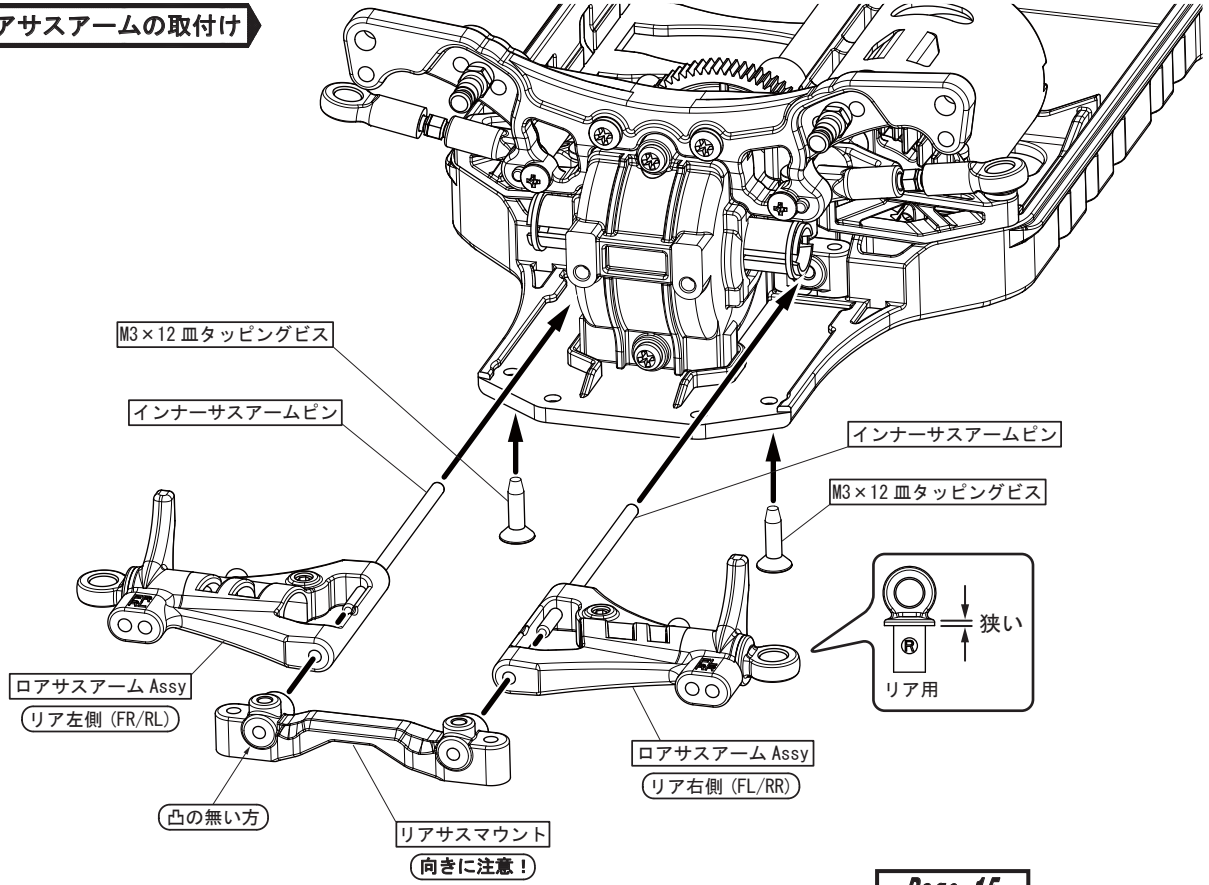
反対側も同様に組立てます。

【取付け後に確認！】

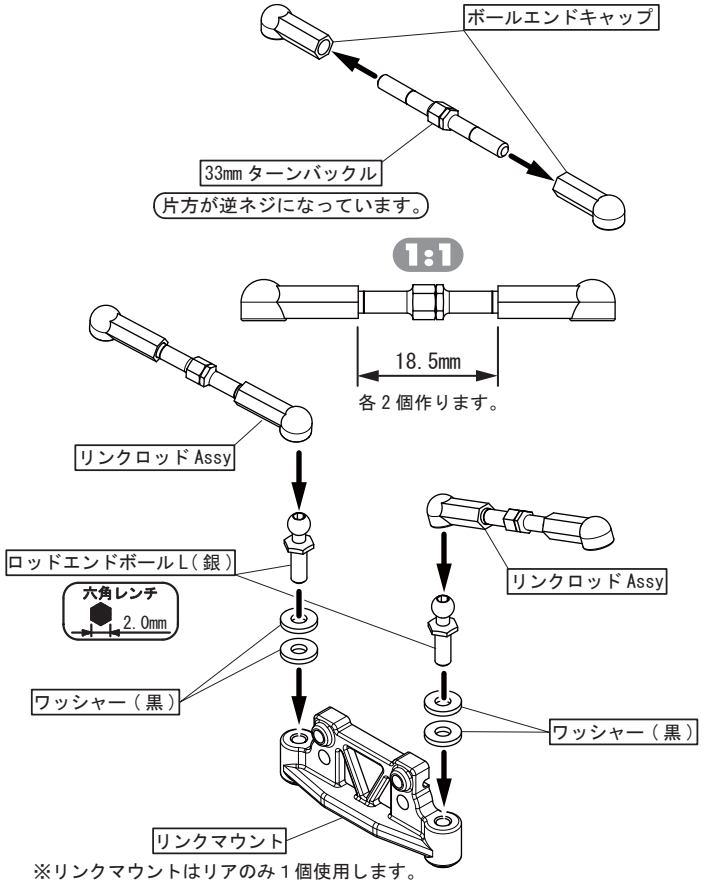


サスアーム取付け後、アームの作動が渋い場合は、サスマウント取付ビスのしめ込み過ぎによるサスアームピンの歪みが原因です。イラストで示すビス（２本）を一度ゆるめ、アームの作動を確認しながらしめ直して下さい。あまり変化が見られないようでしたらこのビスを取り外して下さい。（ビスを取り外しても走行上の問題はありません。フロント側も同様に調整して下さい。）

リアサスアームの取付け



≪リンクマウントの組立て≫



※リンクマウントはリアのみ１個使用します。
１個はスペアとしてご使用ください。

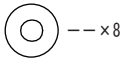
【袋 -⑩の内容】


−−×2

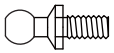
M3×8 タッピングビス


−−×8

キングピンボール


−−×8

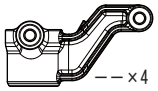
ワッシャー（黒）


−−×4

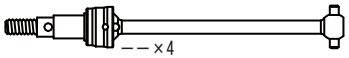
ロッドエンドボール（黒）


−−×8

6×10 ベアリング


−−×4

ステアリングブロック


−−×4

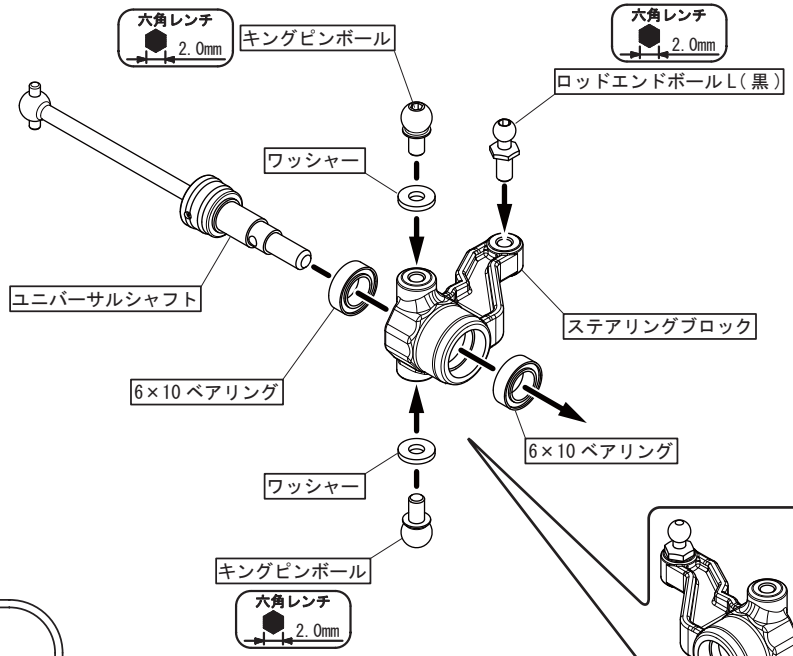
ユニバーサルシャフト

ジョイントグリス袋 × 1

13 前後ステアリングブロックの組立て

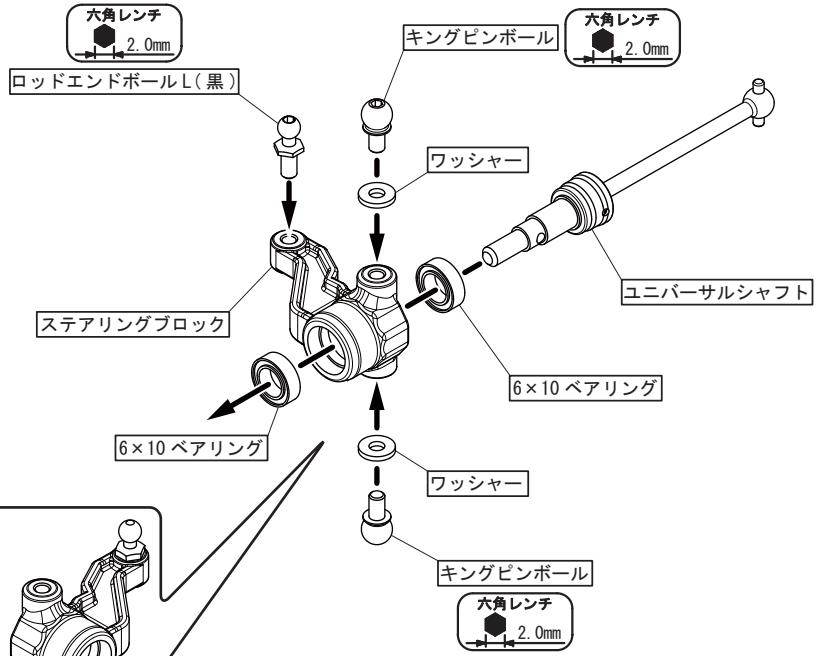
左側

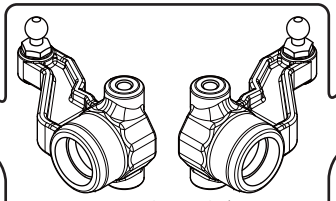
2 セット組立てます。



右側

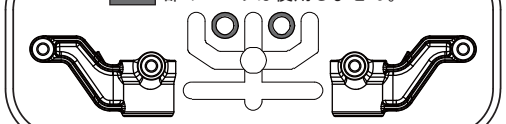
2 セット組立てます。



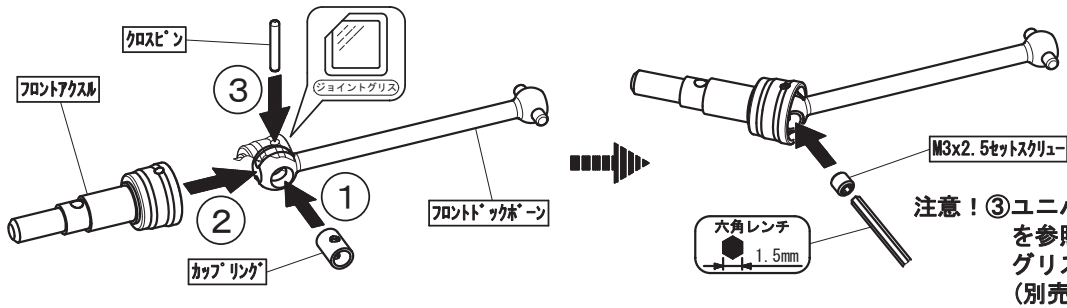


左右でロッドエンドボールの
取付け方向が異なります。

部のパーツは使用しません。

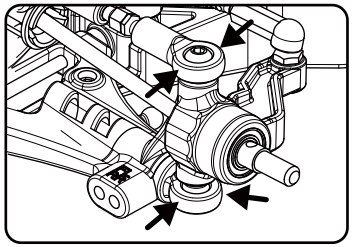


ユニバーサルシャフトの組立て方



注意！③ユニバーサルを組み立てる場合は左イラストを参照して下さい。その際は必ずジョイントグリスを塗布して下さい。（別売のブラックグリスでも代用出来ます。）

14 ステアリングブロックの取付け



リンク部分の作動が重い場合は、
ロッドエンドの矢印部をペンチ等
で摘まんで馴染ませてください。

リア

ステアリングブロック Assy
ボールの向きに注意

リンクマウント Assy

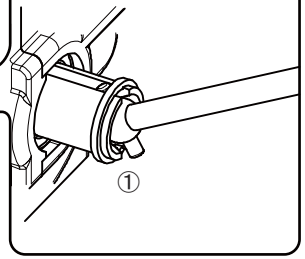
M3×8 タッピングビス
締め過ぎ注意!

ステアリングブロック Assy
ボールの向きに注意

フロント

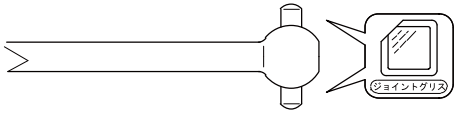
ステアリングブロック Assy
ボールの向きに注意

ステアリングブロック Assy
ボールの向きに注意



ソリッドジョイントにはめ
込んでから、キングピンボ
ールをロアロッドエンドに
はめ込みます。

【取付け前にちょっと注目！】



・フロント、及びリアドックボーンシャフトの
ピンには必ず(ジョイントグリス)を塗る事。
(別売のブラックグリスでも代用出来ます。)

【 袋ー⑪ の内容 】



—×4　ショックシャフト



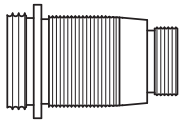
——×8　2mm Eリング



2mmEリングはテープで
8ヶまとめてあります。



—×4　ショックスプリング



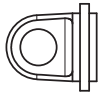
—×4　ショックシリンダー



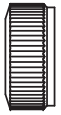
——×4　Oリングキャップ



——×4　Oリング(透明)



——×4　キャップエンド



——×4　キャップナット



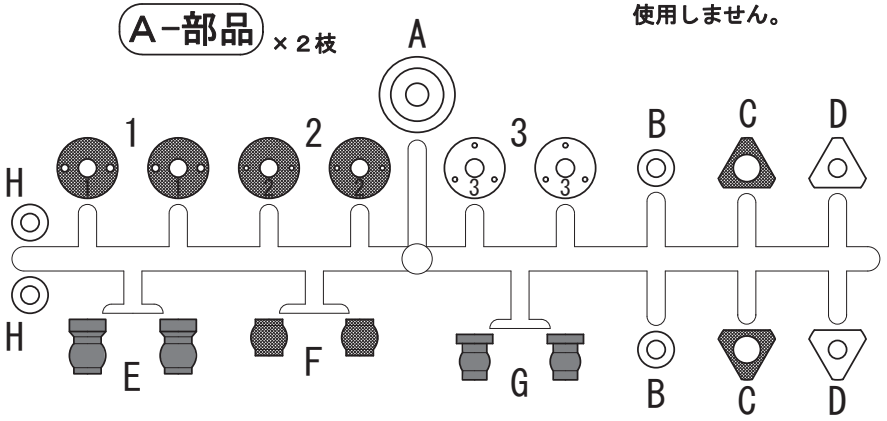
——×4　ダイヤフラム



——×4　インナースポンジ

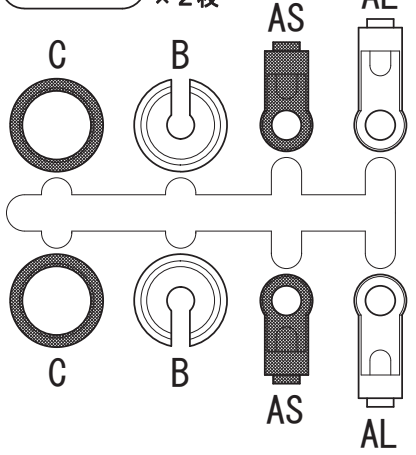
注意！①ダンパーは非常に多くのパーツ類から構成されています。
組立てる際には間違えのないよう注意して下さい。

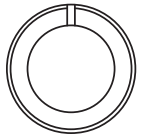
A-部品 × 2枚



▩ 部の部品は使用しません。

B-部品 × 2枚





——×4　アジャストナット



——×4　Oリング(φ１２)



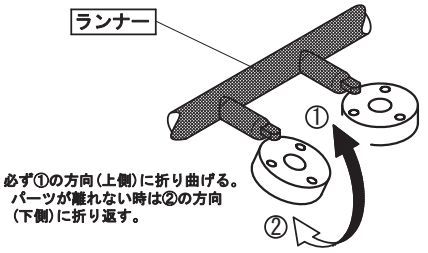
—×4　キングピンボール

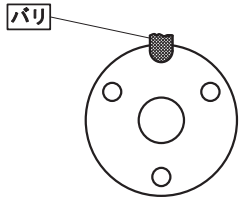


—×8　ショックストッパー
(交換用スペアとして4個付属)

その他、ショックオイル１ヶ

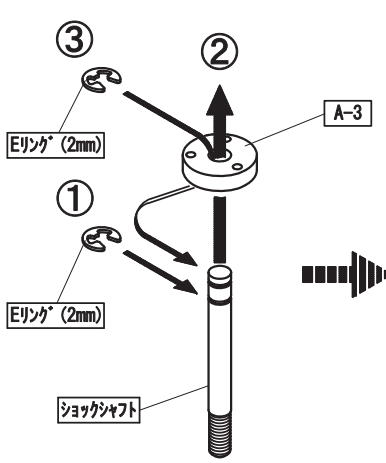
【ランナーから使用するパーツを切り離す】　【バリはカッターで切り落とす】



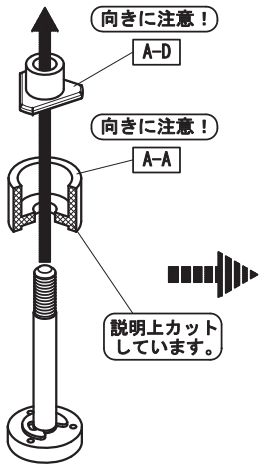


注意！②ランナーからパーツを切り離す際は、図の様に折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離して下さい。なお、パーツにバリなどが残ってしまった場合は、カッターなどで丁寧に切り落として下さい。

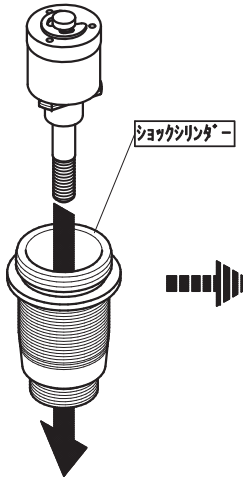
15 ダンパーの組立て（４本作ります。）



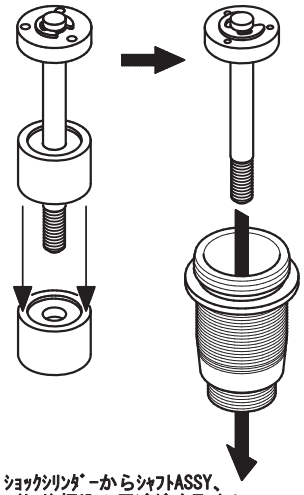
・（ショックシャフト）に（2mmEリング），（A-3）
ピストンを番号通りにはめ込む。



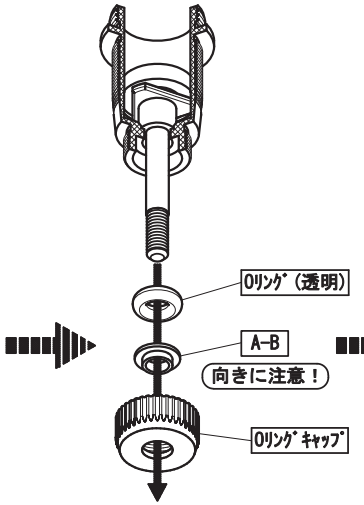
・ショックシャフトASSYに上記パーツを通す。
（パーツの向きに注意！）



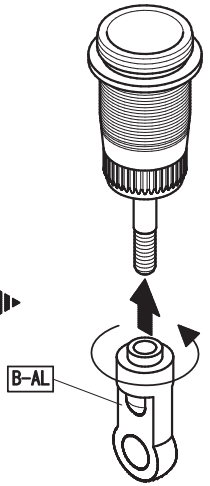
・ショックシリンダーにショックシャフトASSYを
入れシャフトをいっぱいまで引く。



・ショックシリンダーからシャフトASSY、
（A-A）押込み用ジグを取出し
シャフトASSYのみショックシリンダーに戻す。

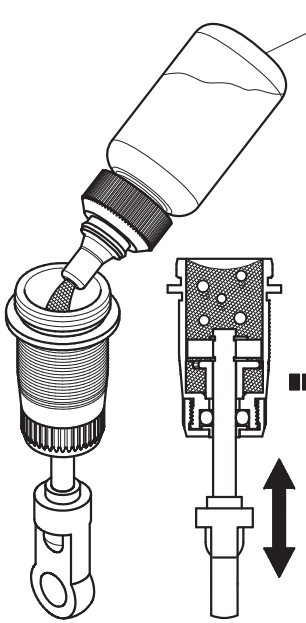


・Oリング（透明）、（A-B）をショックシリンダー
にはめ込み、Oリングキャップをねじ込む。
（シャフトのネジ部で（Oリング）にキズを付け
ないよう注意！）

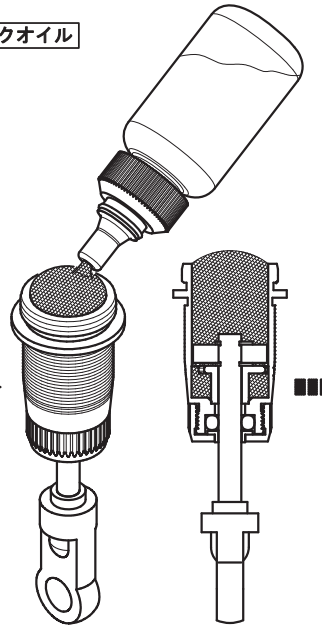


・ショックシャフトに（B-AL）をネジ部分が隠れる
までねじ込む。

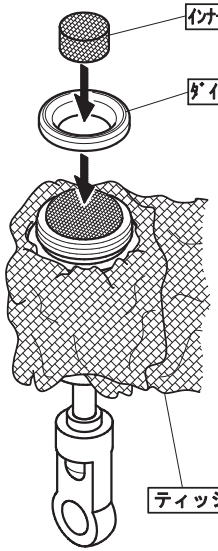
注意！ー（A-A）押込み用ジグはこの作業のみで使用します。
次工程のシャフトASSYをシリンダーに戻す際には
（A-A）押込み用ジグは使用しません。



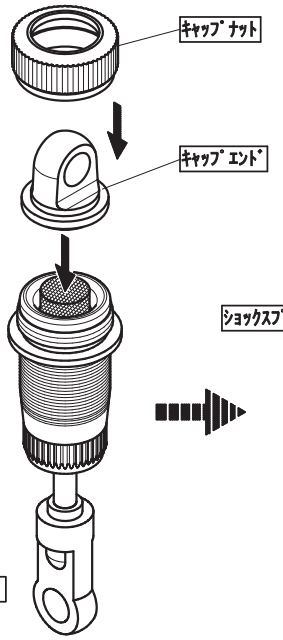
・ショックシリンダーにショックオイルを入れ，シャフトを
上下にゆっくりと動かし気泡を抜く。



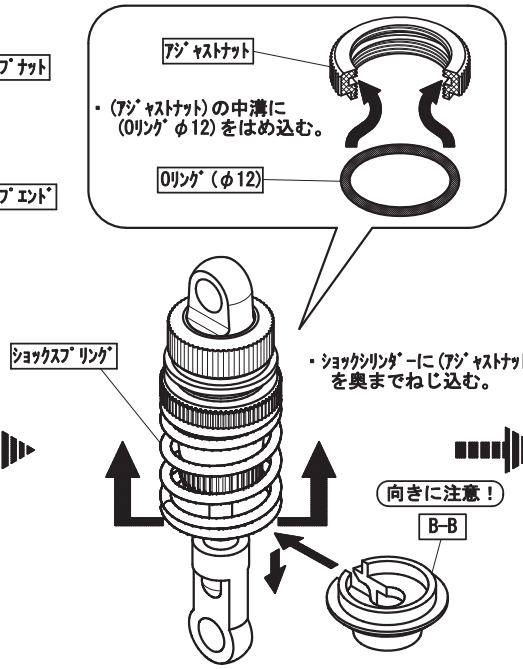
・シリンダーの口元いっぱいまでショックオイルを入れる。
（気泡を入れないように注意！）



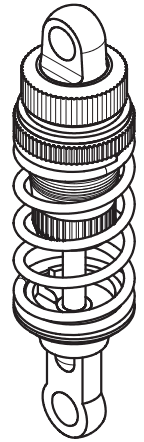
・ショックシリンダーにティッシュペーパーを巻き付け
（ダイヤフラム）をいっぱいまでかぶせ
（インナースポンジ）をクボミに置く。



・（キャップエンド）に（キャップナット）を
被せ、しめ込む。

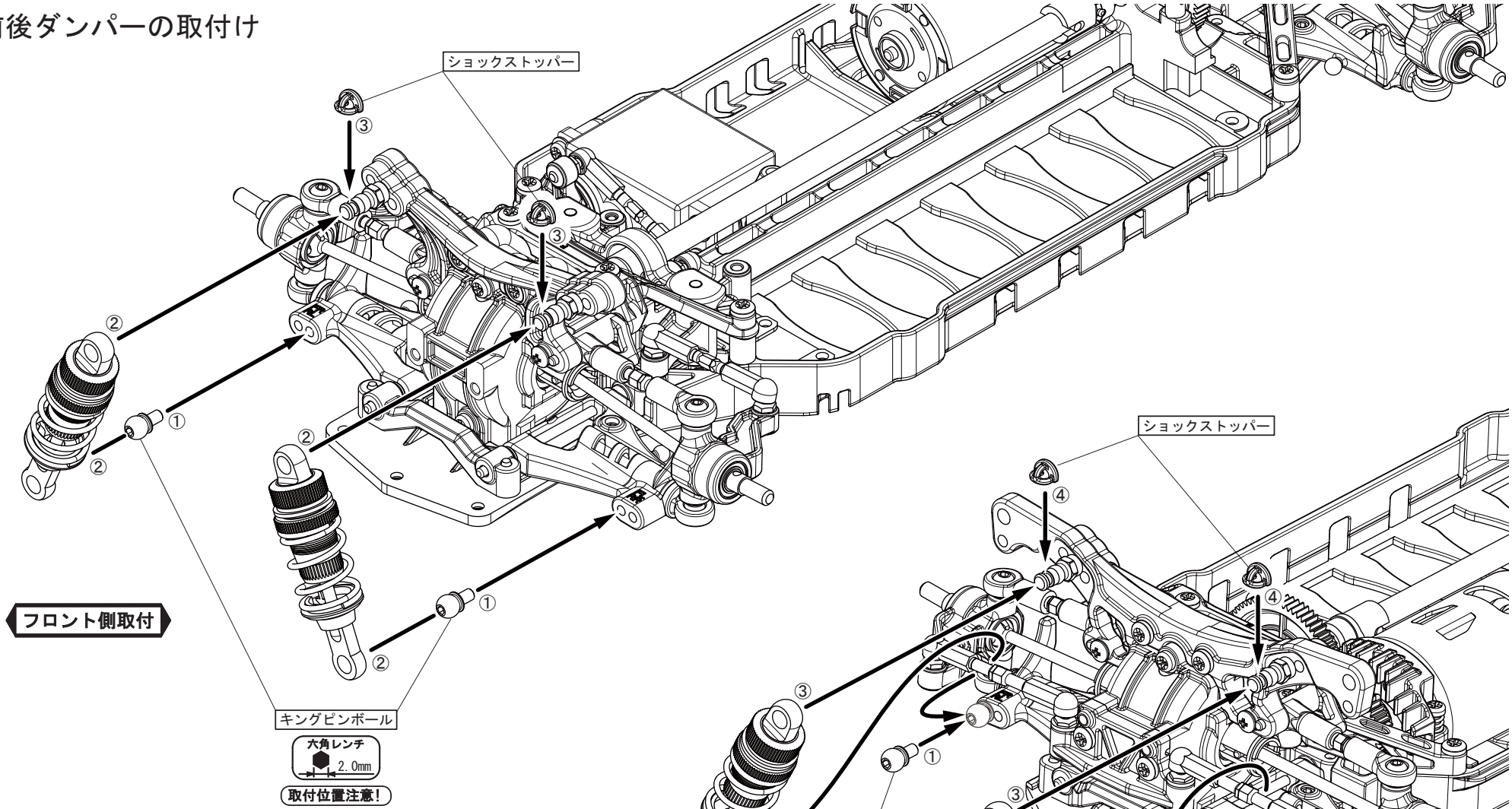


・（シリンダー）に（ショックスプリング）入れ、
押上げながら（B-B）をはめ込む。



ダンパー
の完成！

16 前後ダンパーの取付け



【 このページの使用パーツ】

—×4 キングピンボール

—×4 ショックストッパー

【 袋ー⑬ の内容 】

—×4
M3× 10皿ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ

—×4
M3× 12皿ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞﾋﾞｽ

—×2　M3× 18皿タッピングビス

—×2　M3× 10 タッピングビス

—×2　フロントボディーポスト

—×2　リアボディーポスト

—×10
フードピン

—×4　ボディーマウントシーソー

—×1　フロントバンパー

—×1　フロントバンパーサポート

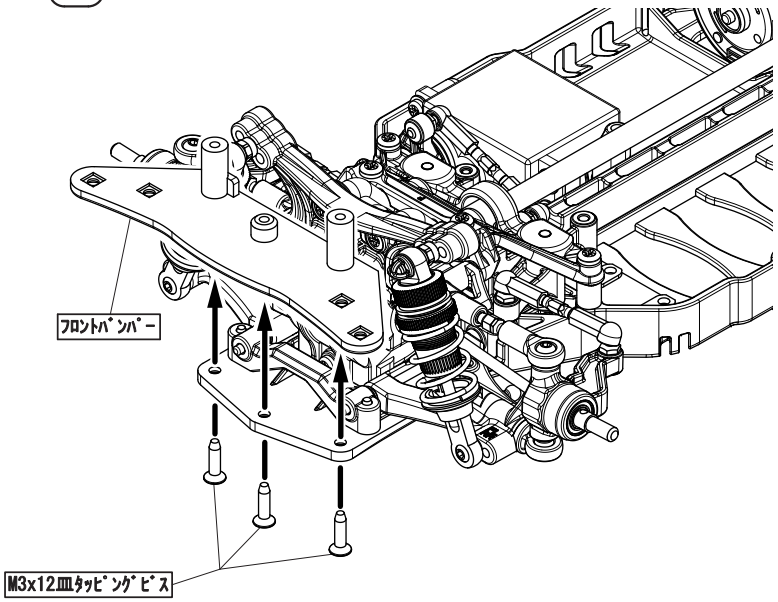
—×1　リアバンパー

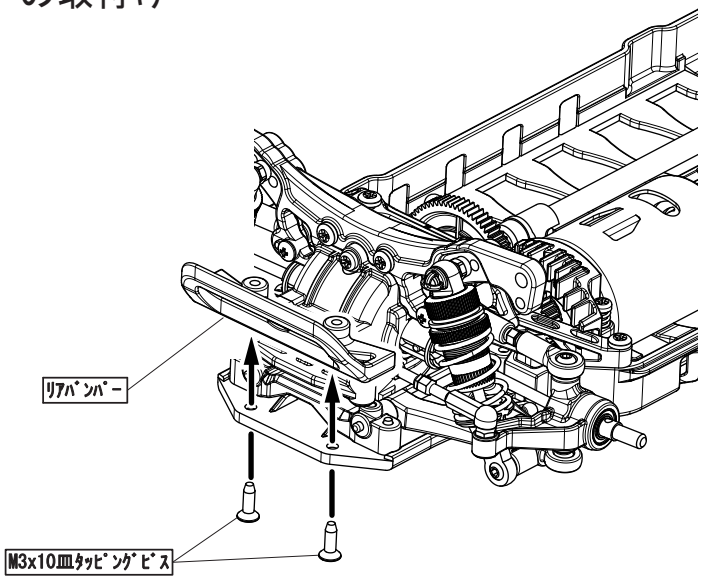
—×1　バッテリーマウント

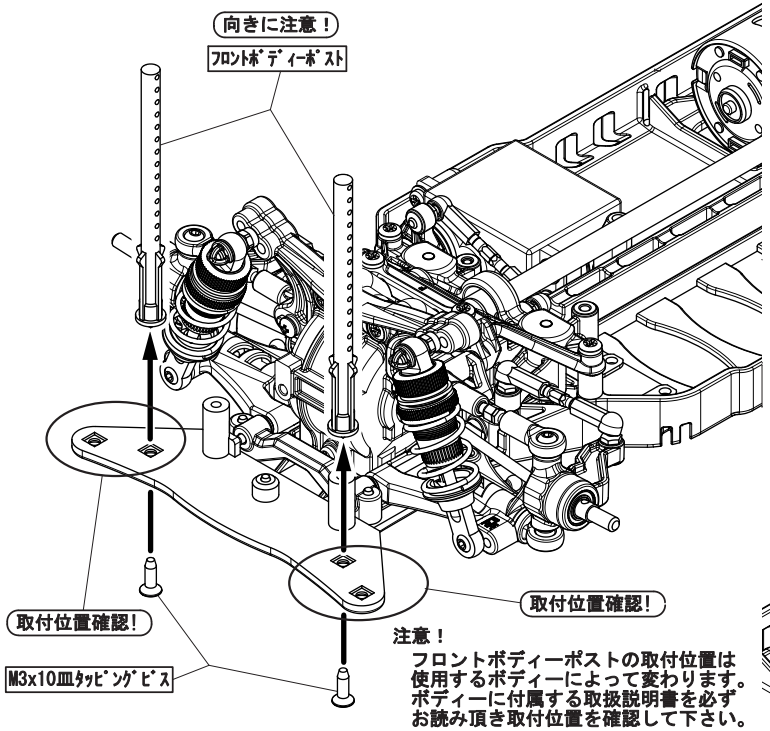
—×1　バッテリープレート

その他、アンテナキャップ、両面テープ
ギヤカバー 各1ヶ、ナイロンストラップ 2本
スポンジテープ 3枚

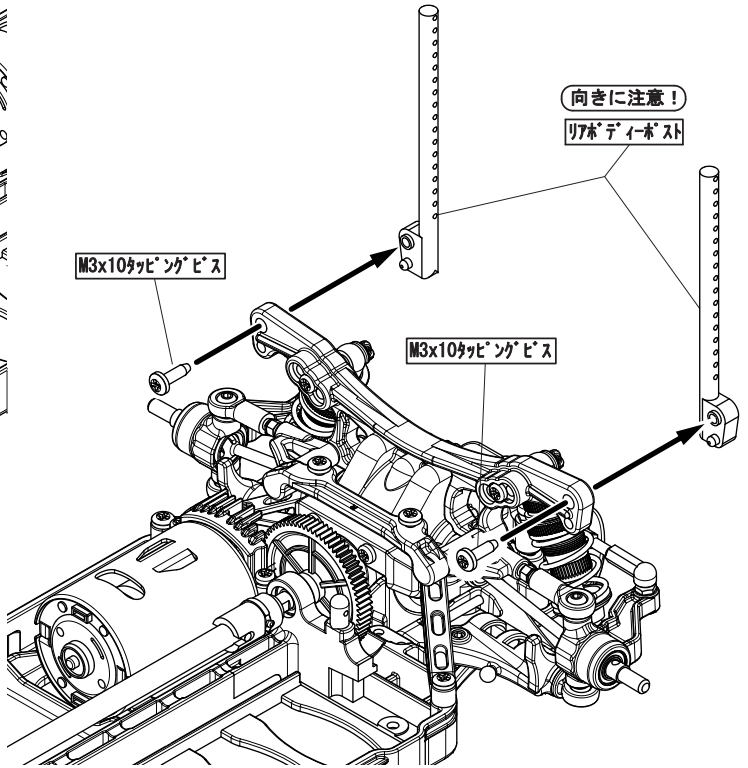
17 フロント＆リアバンパー、ボディーポストの取付け



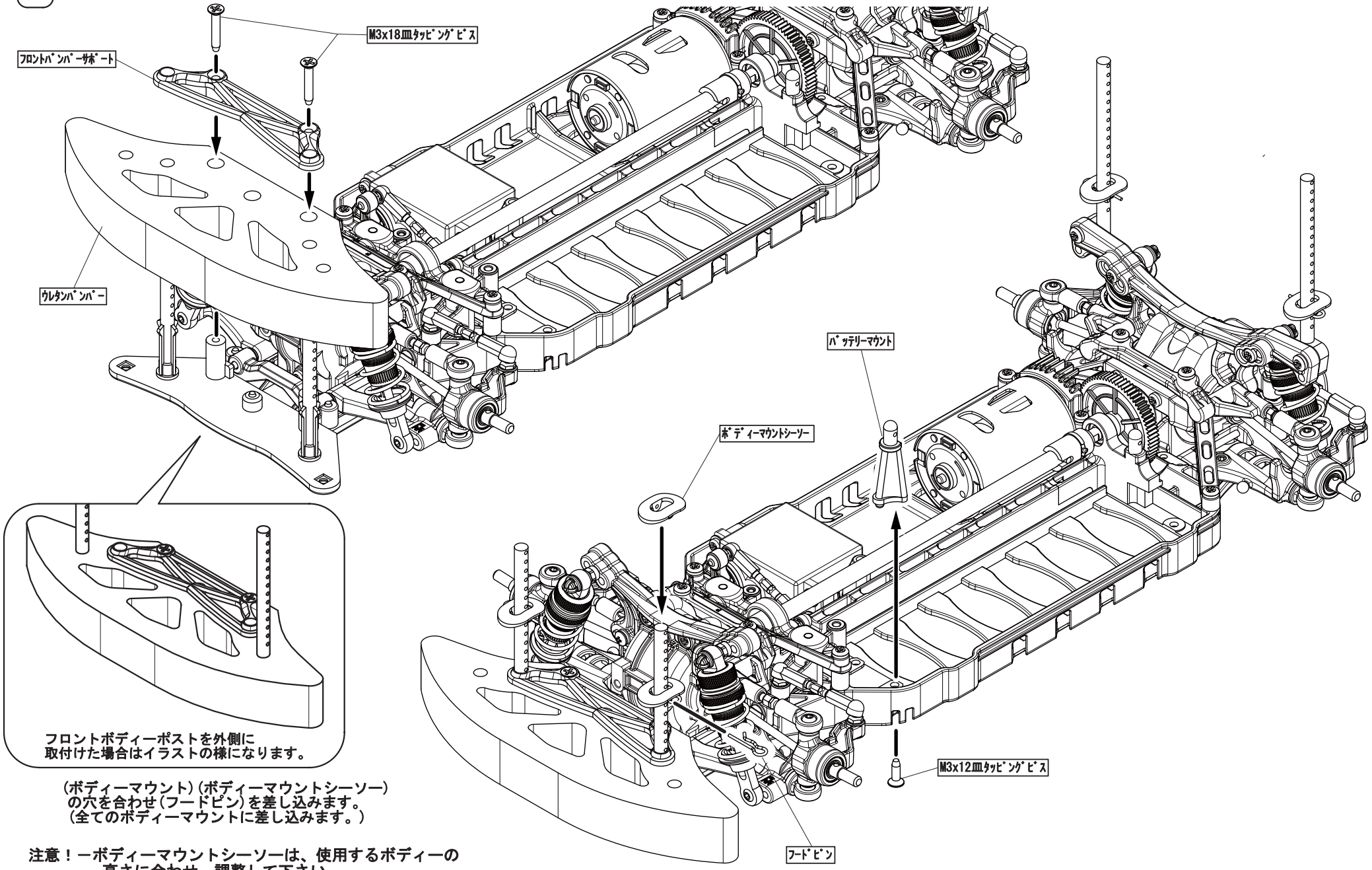




注意！
フロントボディーポストの取付位置は
使用するボディーによって変わります。
ボディーに付属する取扱説明書を必ず
お読み頂き取付位置を確認して下さい。



18 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け

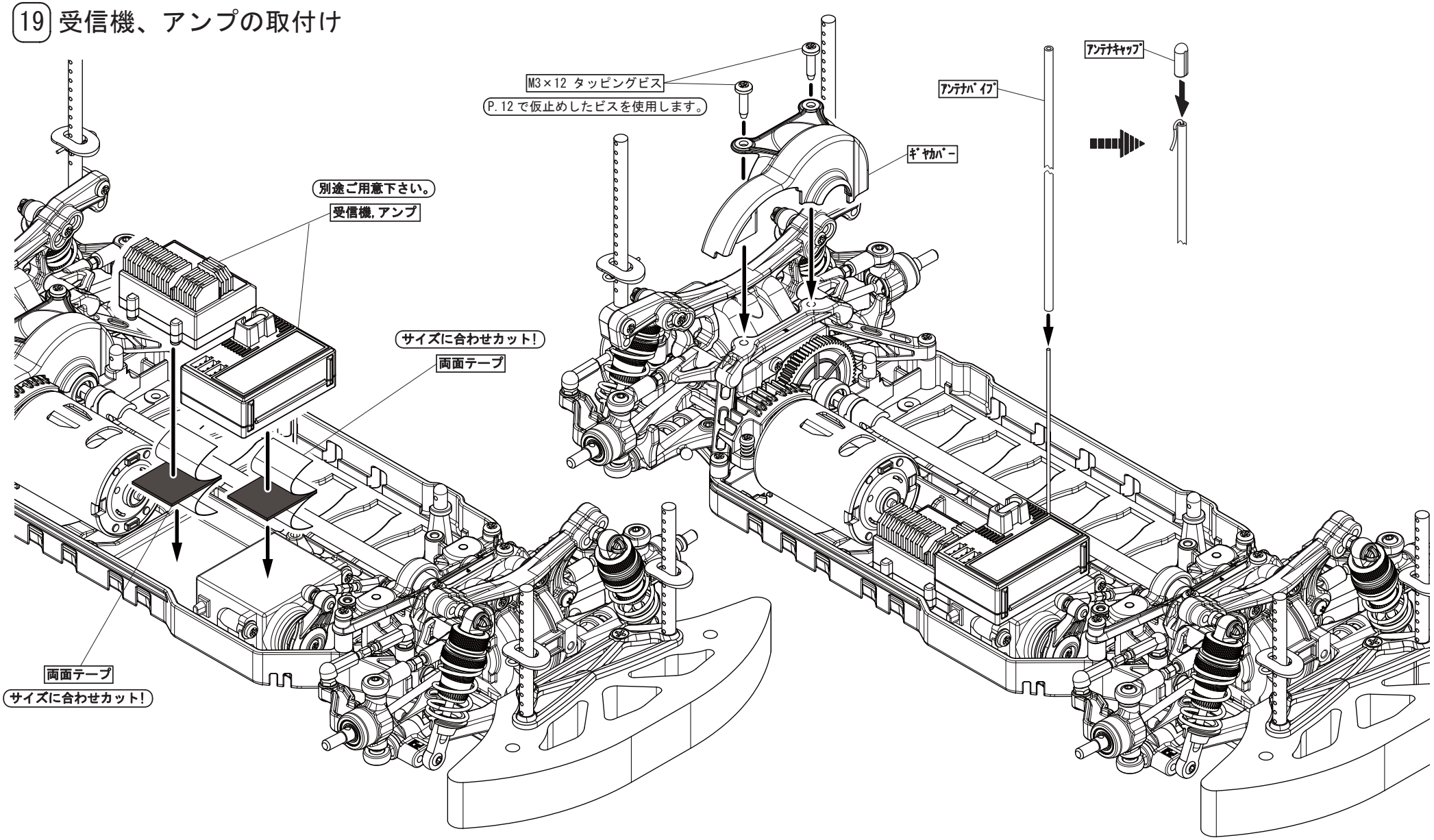


フロントボディーポストを外側に
取付けた場合はイラストの様になります。

(ボディーマウント)(ボディーマウントシーソー)
の穴を合わせ(フードピン)を差し込みます。
(全てのボディーマウントに差し込みます。)

注意！ーボディーマウントシーソーは、使用するボディーの
高さに合わせ、調整して下さい。

19 受信機、アンプの取付け

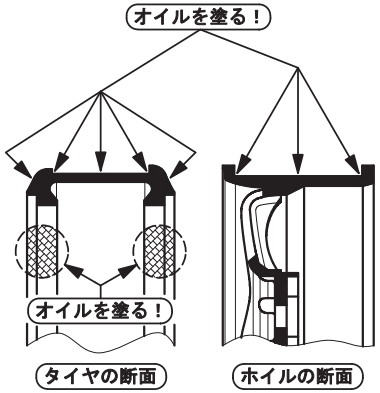


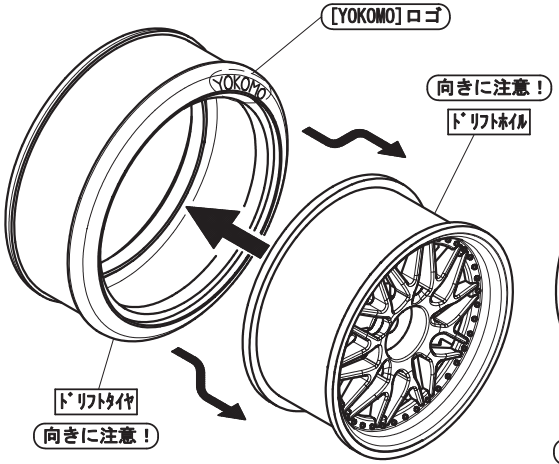
注意！①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用し
シャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておくと、はがれ
にくくなります。)

アンテナ線をイラストのようにアンテナマウントから
アンテナパイプに通し、先端が２ｃｍ位出た所で
アンテナパイプをマウントへ深めに差込み、アンテナ
キャップを被せて下さい。

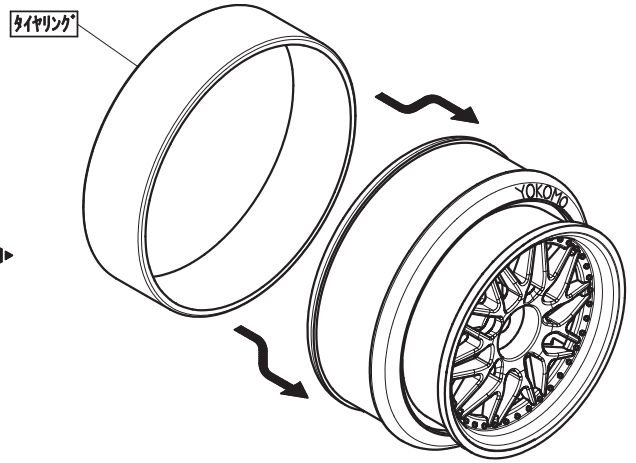
注意！②余ったアンテナ線はメインドライブシャフトなどの
稼動部分に触れない様に束ねて下さい。

20 タイヤの組立て(本キットのタイヤは組立済です。スペアタイヤを作成する場合などに参照して下さい。)





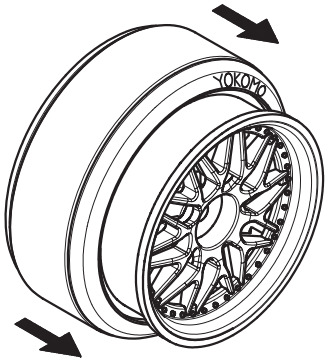


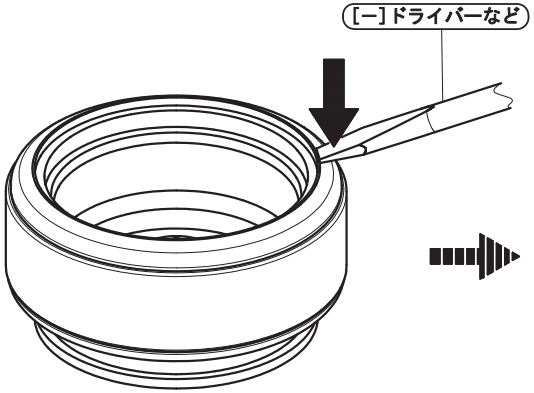


ティッシュペーパーにＣＲＣ等の潤滑オイルを吹きつけ(ご家庭にあるサラダオイル等を使用するのもＯＫ)、左イラストのように、
タイヤのトレッド面全周、タイヤ内側の両リブ全周、両サイドのクボミ全周、ホイルのリム幅面全周にタップリと塗りつけて下さい。
ホイルスポーク部とタイヤ[ＹＯＫＯＭＯ]ロゴの向きを確認し、右イラストのようにホイルの半分位までタイヤをかぶせた状態にします。
タイヤがはめ込みづらい時は、あらかじめお湯でタイヤをあたためておくと柔らかくなり作業がしやすくなります。

タイヤのミゾにタイヤリングをしっかりとはめ込みます。
(はめ込みが不十分だと次工程のホイルにはめ込む作業がしずらくなります)

注意！①(ドリフトタイヤ)には向きがあります。必ず中イラストのように[ＹＯＫＯＭＯ]ロゴがスポーク部と同じ向きにくるようにはめ込んで下さい。
②ホイルをランナーから切りはなす際に残るバリはカッター等で必ずきれいにとり除いて下さい。
③お湯を使用する時は、ヤケド等しないよう取扱いに十分ご注意下さい。
④無理な作業は思わぬケガ等をすることがありますので、ゆとりを持ってゆっくりと組立を行って下さい。

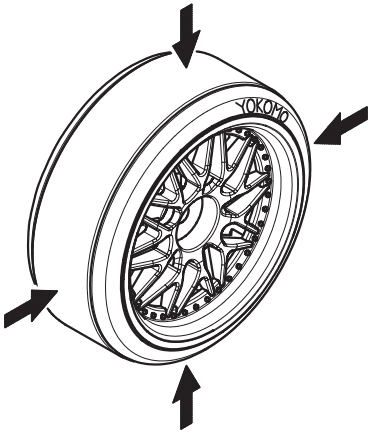




タイヤをいっぱいまでおし込み、[－]ドライバー等を利用してスキマや段差がなくなるまでハシから徐々におし込むようにはめ込みます。
(しっかりとはめ込まれた状態は、タイヤとホイルがほぼツライチになります。スキマや段差がなくならない場合は、もみほぐしながらはめ込んで下さい)



ディスク面を表側にし、タイヤがホイルにはまり込んでいるかを確認します。もし、スキマや段差が出来ている場合にはイラストのように小さめの[－]ドライバー等でホイルにキズを付けないよう、タイヤを回転させながらタイヤのリブを引っぱり出し、ホイルのリムにかぶるように合わせます。



最後に全体をよくもみほぐし、リングとタイヤ、タイヤとホイルをなじませて下さい。

【 袋ー⑮ の内容 】



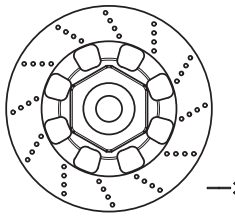
ー×4
M４ ナイロンナット



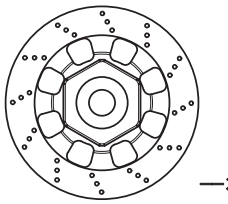
ー×4
ホイルハブピン



ー×4　ハブ用Oリング



ー×2
ディスクローター型フロントホイルハブ(ディスク径-大)



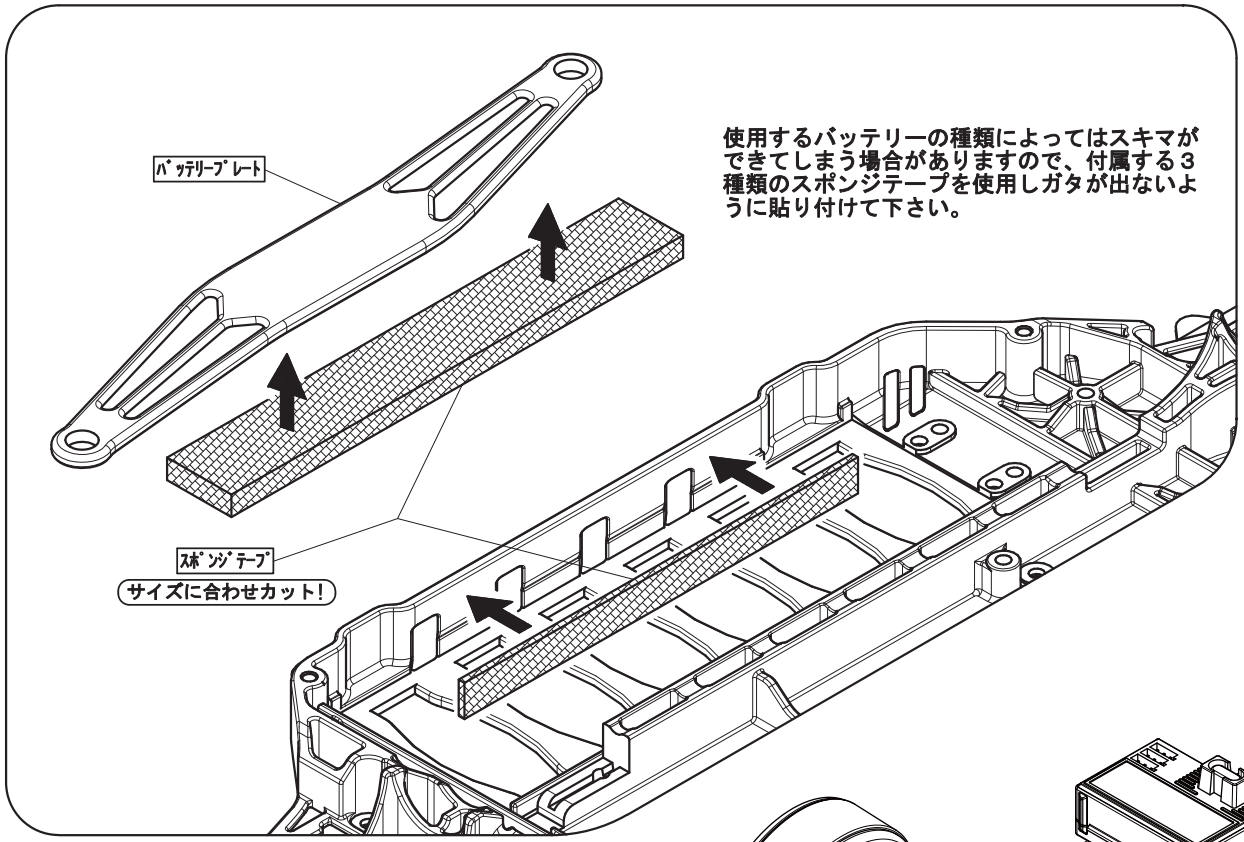
ー×2
ディスクローター型リアホイルハブ(ディスク径-小)

21 ホイルハブ、タイヤの取付け

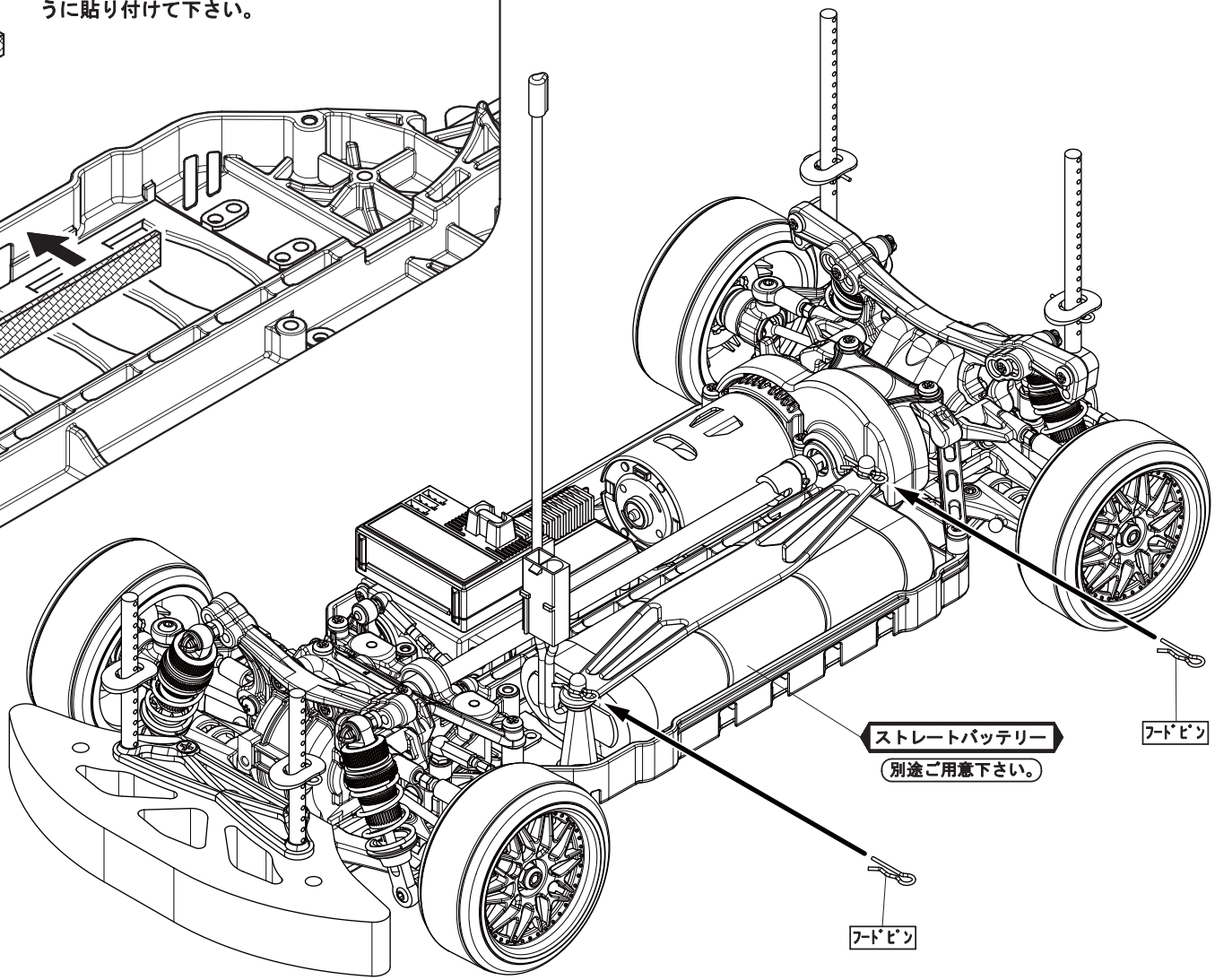
【 反対側も同じ様に固定します。】

アクスルに(ホイルハブピン)をさし込み、(ディスク型ホイルハブ)をピンミゾにはめ込みます。(ハブ用Oリング)をさし込み、ホイルハブとホイルの６角を合わせ(Ｍ４ナイロンナット)で固定します。

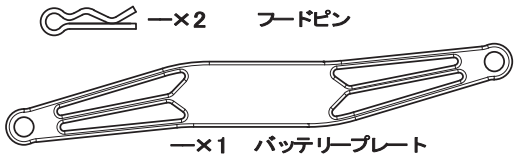
22 バッテリーの搭載



使用するバッテリーの種類によってはスキマができてしまう場合がありますので、付属する３種類のスポンジテープを使用しガタが出ないように貼り付けて下さい。



【 この項目の使用パーツ】

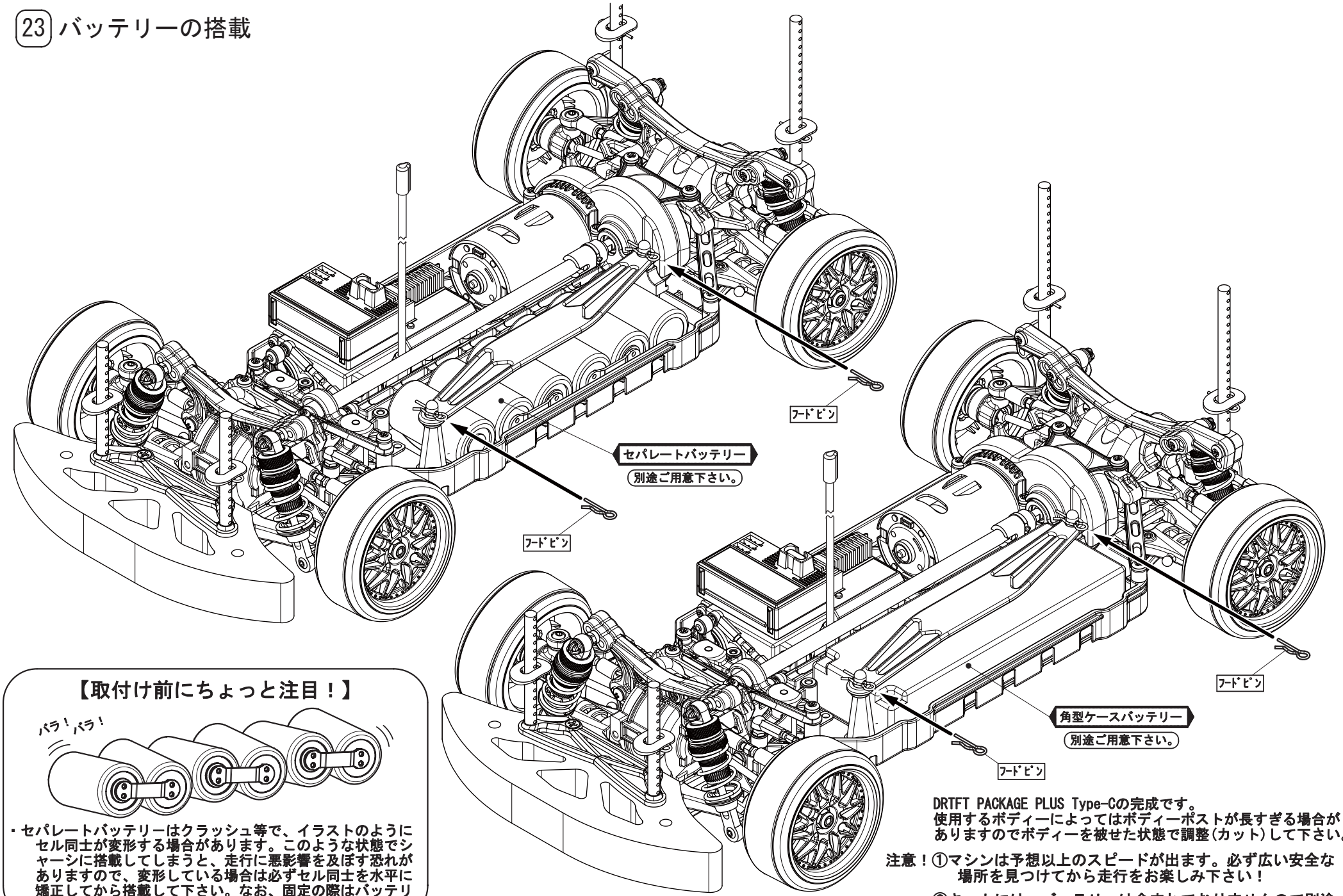


—×2　フードピン

—×1　バッテリープレート

その他、スポンジテープ ３枚

23 バッテリーの搭載



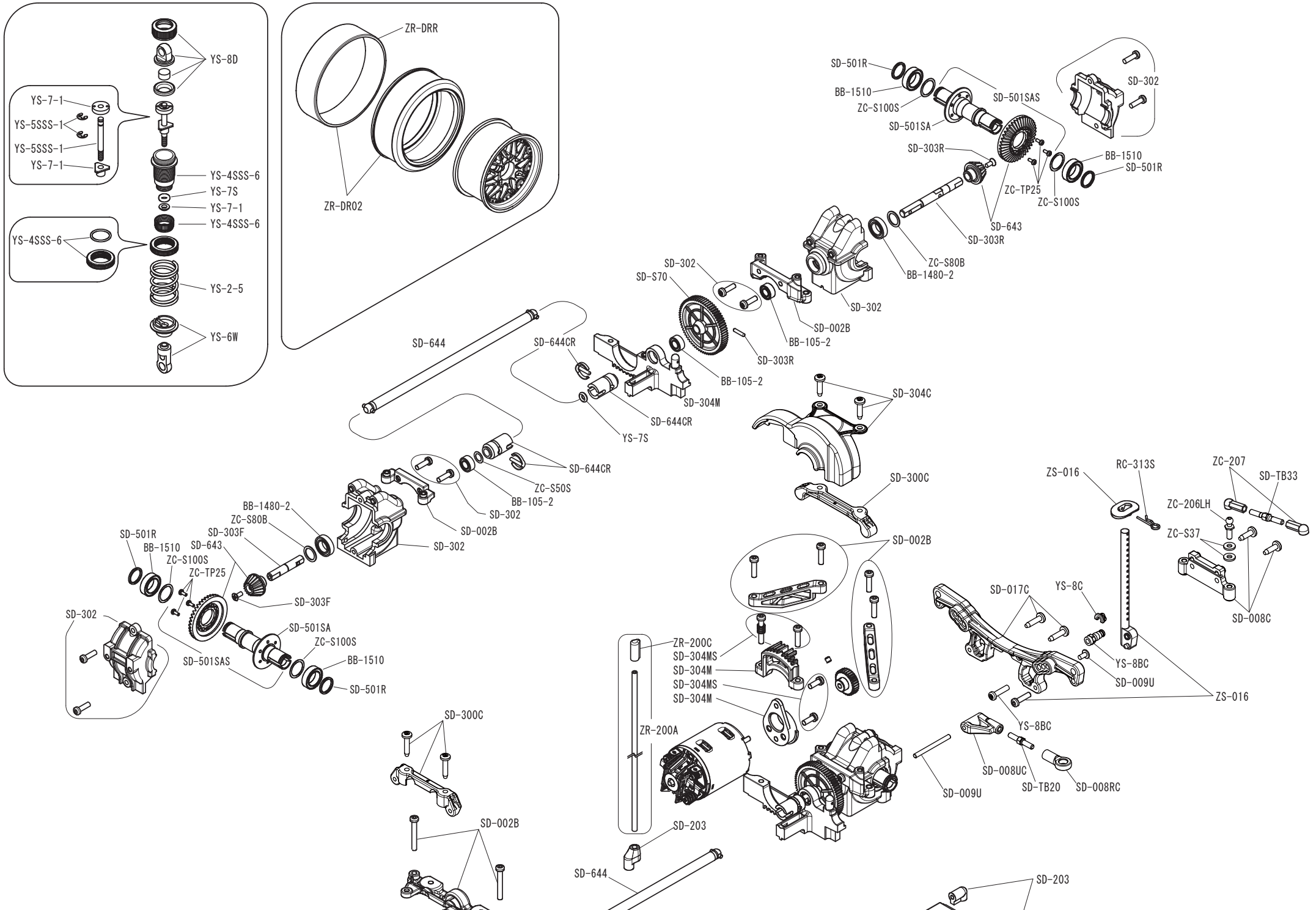
【取付け前にちょっと注目！】

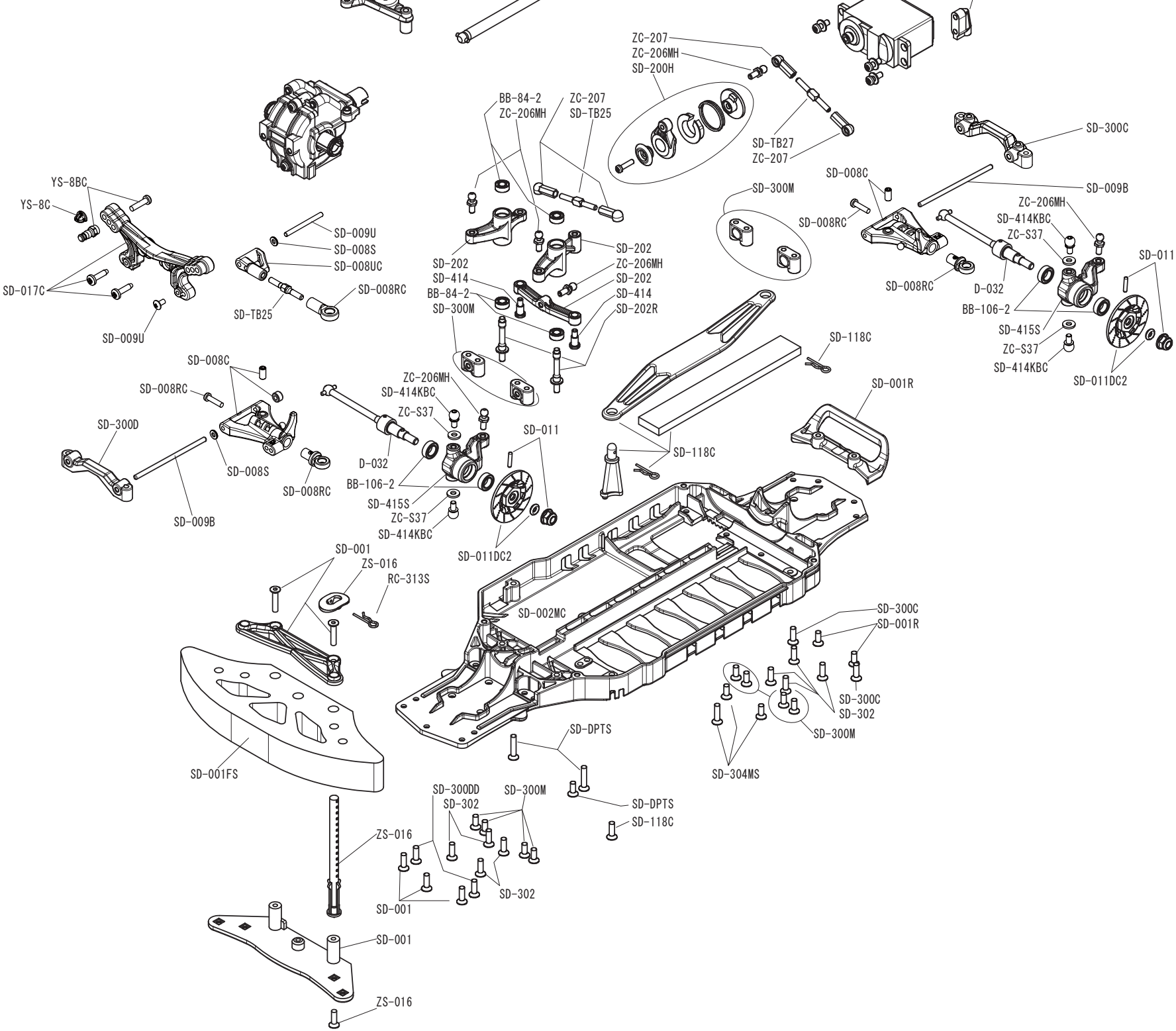
・セパレートバッテリーはクラッシュ等で、イラストのようにセル同士が変形する場合があります。このような状態でシャーシに搭載してしまうと、走行に悪影響を及ぼす恐れがありますので、変形している場合は必ずセル同士を水平に矯正してから搭載して下さい。なお、固定の際はバッテリープレートを押さえつけず多少のガタを持たせて下さい。

DRTFT PACKAGE PLUS Type-Cの完成です。
使用するボディーによってはボディーポストが長すぎる場合がありますのでボディーを被せた状態で調整(カット)して下さい。

注意！①マシンは予想以上のスピードが出ます。必ず広い安全な場所を見つけてから走行をお楽しみ下さい！

②キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途ご用意下さい。


YS-8D
YS-7-1
YS-5SSS-1
YS-5SSS-1
YS-7-1
YS-4SSS-6
YS-7S
YS-7-1
YS-4SSS-6
YS-4SSS-6
YS-2-5
YS-6W
ZR-DRR
ZR-DR02
SD-501R
BB-1510
ZC-S100S
SD-501SA
SD-501SAS
SD-302
SD-303R
BB-1510
SD-501R
ZC-TP25
ZC-S100S
SD-643
SD-303R
ZC-S80B
BB-1480-2
SD-302
SD-S70
SD-302
SD-002B
BB-105-2
SD-303R
SD-644
SD-644CR
BB-105-2
SD-304M
SD-644CR
YS-7S
SD-304C
SD-300C
SD-002B
SD-644CR
ZC-S50S
BB-105-2
SD-302
SD-002B
BB-1480-2
ZC-S80B
SD-303F
SD-643
ZC-S100S
ZC-TP25
SD-501R
BB-1510
SD-303F
SD-302
SD-501SA
ZC-S100S
BB-1510
SD-501SAS
SD-501R
ZS-016
RC-313S
ZC-207
SD-TB33
ZC-206LH
ZC-S37
SD-008C
SD-017C
YS-8C
YS-8BC
SD-009U
ZS-016
YS-8BC
ZR-200C
SD-304MS
SD-304M
SD-304MS
SD-304M
ZR-200A
SD-009U
SD-008UC
SD-TB20
SD-008RC
SD-300C
SD-002B
SD-203
SD-644
SD-203


ZC-207
ZC-206MH
SD-200H
SD-TB27
ZC-207
BB-84-2
ZC-206MH
ZC-207
SD-TB25
SD-300C
SD-008C
SD-009B
SD-008RC
SD-300M
ZC-206MH
SD-414KBC
ZC-S37
SD-011
D-032
BB-106-2
SD-415S
ZC-S37
SD-414KBC
SD-011DC2
YS-8BC
YS-8C
SD-017C
SD-009U
SD-009U
SD-008S
SD-008UC
SD-TB25
SD-008RC
SD-202
SD-414
BB-84-2
SD-300M
SD-202
ZC-206MH
SD-202
SD-414
SD-202R
SD-118C
SD-001R
SD-008C
SD-008RC
SD-300D
SD-008S
SD-008RC
SD-009B
ZC-206MH
SD-414KBC
ZC-S37
D-032
BB-106-2
SD-415S
ZC-S37
SD-414KBC
SD-011
SD-011DC2
SD-118C
SD-001
ZS-016
RC-313S
SD-001FS
SD-002MC
SD-300C
SD-001R
SD-300C
SD-302
SD-300M
SD-304MS
SD-DPTS
SD-DPTS
SD-118C
SD-300DD
SD-300M
SD-302
ZS-016
SD-001
SD-302
SD-001
ZS-016

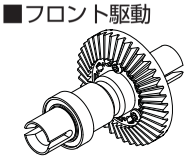
DRIFT PACKAGE TYPE-C SETTING SHEET

ドライバー	

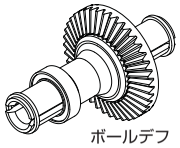
DATE　　/　　/

サーキット			
環　境	□インドア	□アウトドア	
路　面	□アスファルト	□コンクリート	□カーペット
グリップ	□高い	□普通	
路面状況	□フラット	□バンピー	

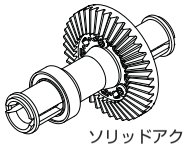
■フロント駆動



□ワンウェイ（SD-640T）

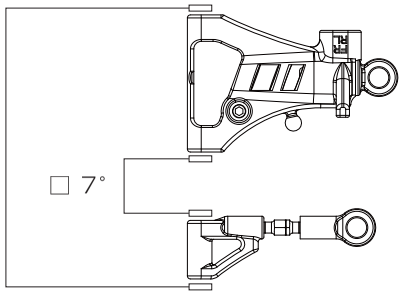


ボールデフ
□樹脂製（SD-501DS）
□アルミ製（BD-500A）



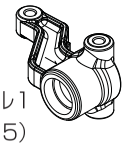
ソリッドアクスル
□樹脂製（SD-501SAS）
□アルミ製（SD-501SAA）

■キャスター角

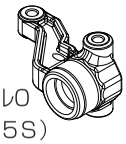


□ 4°（ノーマル）　□ 7°

■ステアリングブロック



□トレール1（SD-415）



□トレール0（SD-415S）



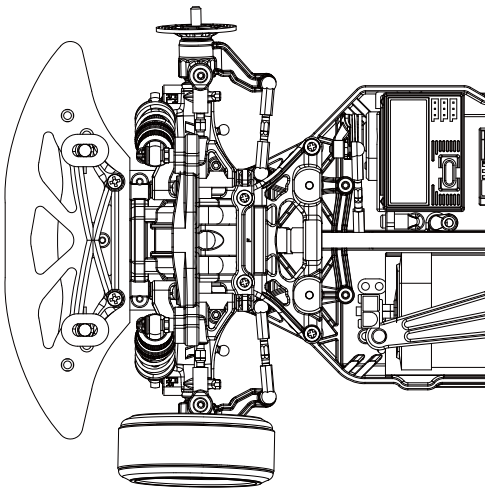
□D-MAX用（SD-415S）

□TeamSUZUKIステアリングブロック（TS-2100）

■ギヤ比

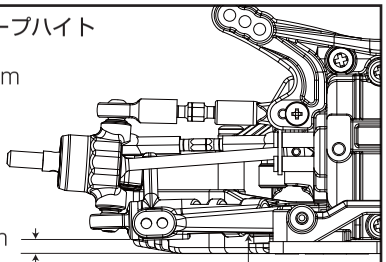
スパー（　　）ピッチ（　　）枚
ピニオン（　　）ピッチ（　　）枚

FRONT



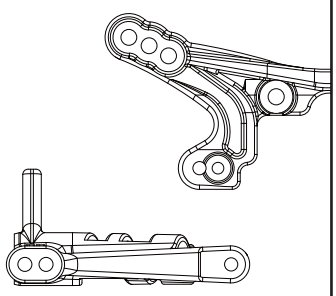
■フロントドループハイト

車高 [　　] mm



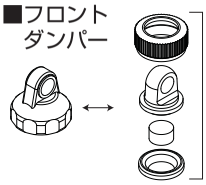
[　　] mm
ダウンストップ用セットビスで調整

■ショック位置

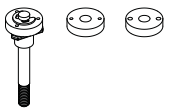


■フロントダンパー

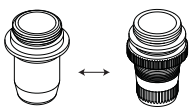
ダンパーオイル [　　]



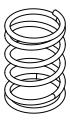
キャップ
□エアレーション（YS-8Y）
□ダイヤフラム（YS-8D）



ピストン（YS-7-1）
□#1　□#2　□#3

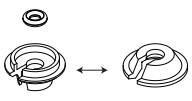


シリンダー
□プラスチック（YS-4SSS-4）
□アルミ（YS-4SSS-6）

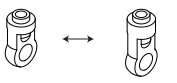


スプリング
（　　）

バンプストップOリング
[　　] 枚

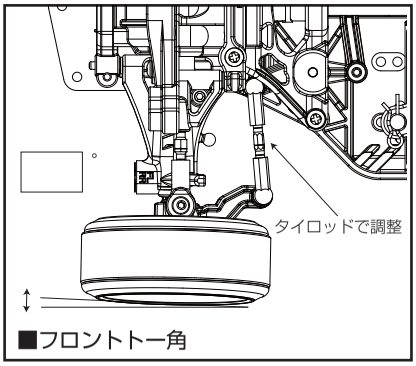


スプリングカップ
□プラスチック（YS-6W）
□レイシピード（RS-15）



ショックエンド（YS-6W）
□ショート
□ロング

ダンパー全長 [　　] mm



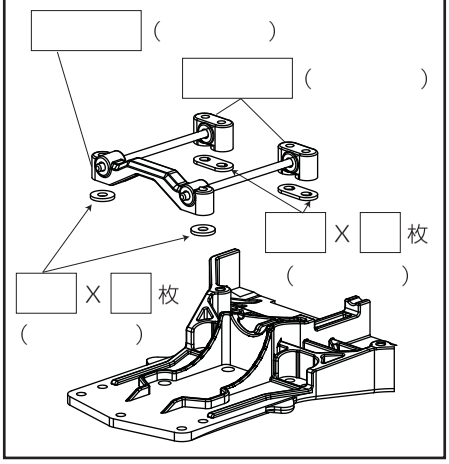
[　　]°
タイロッドで調整

■フロントトー角

■バッテリー

■フロントタイヤ、リング、ホイール

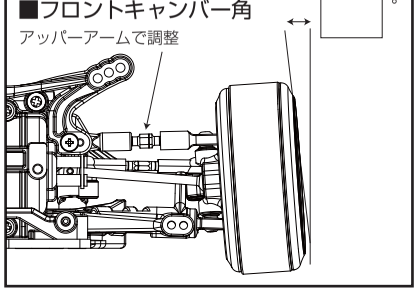
■フロントサスマウント



[　　]（　　）
[　　]（　　）
[　　] X [　　] 枚
（　　）
[　　] X [　　] 枚
（　　）

■フロントキャンバー角

アッパーアームで調整



[　　]°

ボディ　（　　）

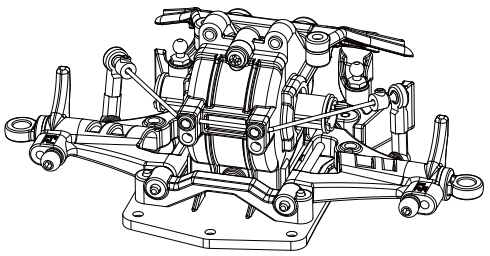
ウィング　（　　）

コメント

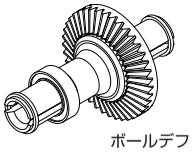
■スタビワイヤー

フロント
□（　　）（　　）
□無し

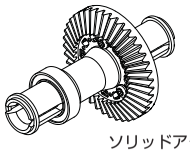
リア
□（　　）（　　）
□無し



■リア駆動



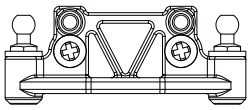
ボールデフ
□樹脂製（SD-501DS）
□アルミ製（BD-500A）



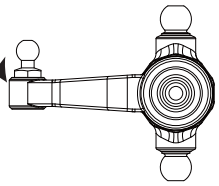
ソリッドアクスル
□樹脂製（SD-501SAS）
□アルミ製（SD-501SAA）

■リンクマウント

□mm X □枚

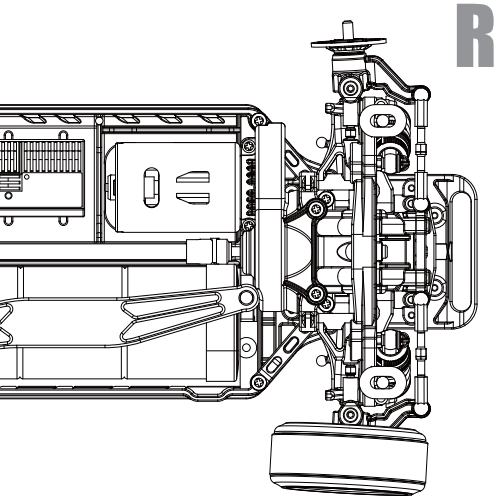


□mm X □枚

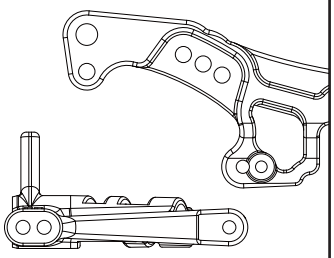


×　2.35　=　ギヤ比（　　：1）

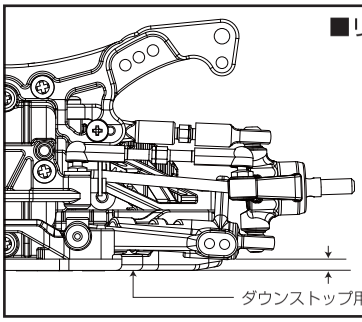
REAR



■ショック位置



■リアドループハイト



車高 □mm

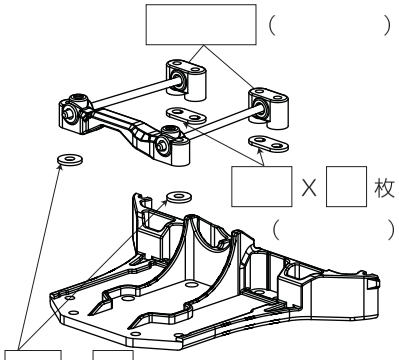
□mm

ダウンストップ用セットビスで調整

■モーター、ESC

■リアタイヤ、リング、ホイール

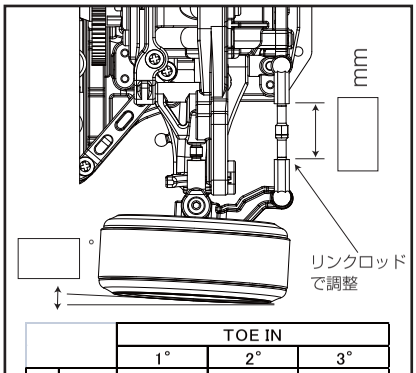
■リアサスマウント



□（　　）

□X□枚
（　　）

□X□枚（　　）



mm

°

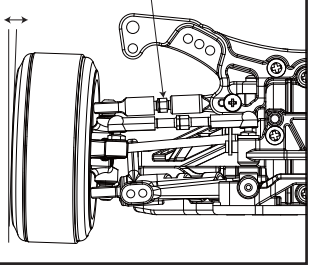
リンクロッドで調整

		TOE IN		
		1°	2°	3°
CAMBER	1°	18mm	18.5mm	19mm
	2°	17.5mm	18mm	18.5mm
	3°	17mm	17.5mm	18mm

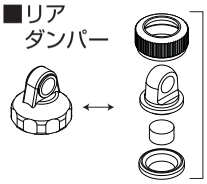
■リアトー角

■リアキャンバー角　アッパーアームで調整

°

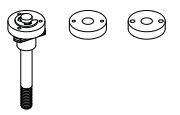


■リア
ダンパー

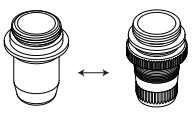


ダンパーオイル □

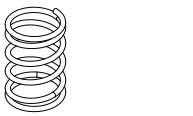
キャップ
□エアレーション（YS-8Y）
□ダイヤフラム（YS-8D）



ピストン（YS-7-1）
□#1　□#2　□#3

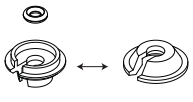


シリンダー
□プラスチック（YS-4SSS-4）
□アルミ（YS-4SSS-6）

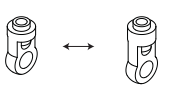


スプリング
（　　）

バンプストップOリング
□枚



スプリングカップ
□プラスチック（YS-6W）
□レイスピード（RS-15）



ショックエンド（YS-6W）
□ショート
□ロング

ダンパー全長 □mm

As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.
Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.

RC MODEL CARS

YOKOMO

www.teamyokomo.com

世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、
そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ　〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7　TEL 03-5613-7553　FAX 03-5613-7552　営業時間：9 時～ 12 時・13 時～ 17 時（祝祭日を除く月～金）